

# 資料編

1. 意識調査
2. バイオマス賦存量利用可能量計算方法
3. ヒアリング調査

## 1. アンケート調査

### 1) 調査概要

市民，事業者が積極的にクリーンエネルギーを導入するに当たってのコスト負担等の意向について，郵送によるアンケートを実施した。また，普及・啓発・事業の実施に際しては関係団体の協力も不可欠であるため，市民活動団体等にもアンケート調査を実施した。

表資-1-1 アンケート調査概要

対象	サンプル数	調査方法	主な調査内容
市民	1,000 人	・無作為抽出 ・郵送による配布・回収	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンエネルギーの関心</li> <li>・クリーンエネルギー導入状況</li> <li>・導入の課題(コスト負担等)</li> <li>・行政に求める支援策</li> <li>・経済波及効果</li> <li>・共同発電所制度への出資 等</li> </ul>
事業者	204 事業所	・業種別，規模別に 2 段階抽出 ・郵送による配布・回収	
関係団体	市民活動団体等 50 団体	・郵送による配布・回収	

### 2) 調査結果

回収率は以下のとおりである。

表資-1-2 回収率

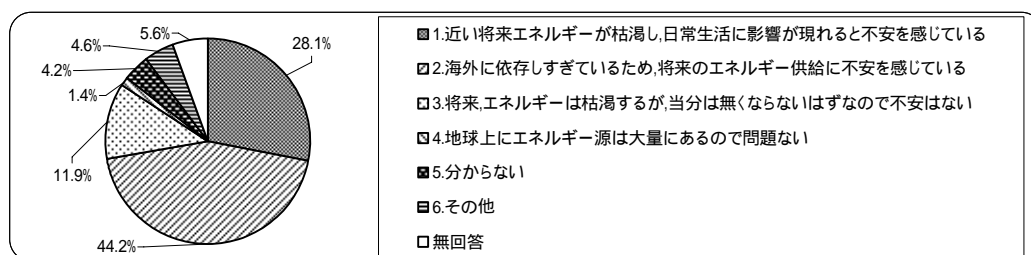
対象	サンプル数	回収数	回収率
市民	1,000 人	281	28.1%
事業者	204 事業所	107	52.4%
関係団体	50 団体	24	48.0%

#### (1) 市民

##### 問1 エネルギー問題についてどのように思いますか。

7 割の市民が，エネルギーについて何らかの不安を感じている。

質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.近い将来エネルギーが枯渇し,日常生活に影響が現れると不安を感じている	80	28.1
2.海外に依存しすぎているため,将来のエネルギー供給に不安を感じている	126	44.2
3.将来,エネルギーは枯渇するが,当分は無くなるはずなので不安はない	34	11.9
4.地球上にエネルギー源は大量にあるので問題ない	4	1.4
5.分からない	12	4.2
6.その他	13	4.6
無回答	16	5.6
計	285	100.0



### 【その他の意見】

- ・利用する全ての人が使用方法を考える
- ・現状のエネルギー使用法では枯渇は必至。CO<sub>2</sub>を排出ゼロ(少ない)太陽、地熱、風力等のエネルギー資源への転換が100%望ましい。
- ・技術の進歩により代替エネルギーの開発が進むので心配はしていない。
- ・太陽光等のクリーンエネルギーをローコストで活用する技術への開発投資を促進すべき
- ・石油石炭等にかわる、新たな半永久的に活用できるエネルギーの開発、研究が進むと考えるため、特に不安には感じていない
- ・他の不安が大きいのでそれどころではない。
- ・新エネルギーが開発される
- ・多少の心配はありますが、何か変るエネルギーが開発されると思う。
- ・枯渇するが他のエネルギーの開発が進んでいるので不安はない
- ・地熱、太陽熱を利用すべき
- ・CO<sub>2</sub>を出さないという理由にのみ注目して原発にたよりすぎている点が危険
- ・新しいエネルギー源を開発すると思う

## 問2 エネルギー問題で有効と考える対応策

石油・石炭以外のエネルギーの導入が最も多く、次いで廃棄物のエネルギー利用、省エネルギーの導入などとなっている。

質問	回答数(件)	選択割合(%)	選択割合は 回答数/サンプル数							
			0	20	40	60	80	100		
1.家庭、事業所、工場を含め、地域全体が徹底した省エネルギーを進める	177	62.1				62.1				
2.家庭から出るごみ等の廃棄物をエネルギーとして利用する	157	55.1				55.1				
3.太陽光、小水力、バイオマスなど石油・石炭以外のエネルギーを積極的に導入する	194	68.1				68.1				
4.天然ガスなど二酸化炭素の排出が少ないエネルギー源へ転換する	81	28.4				28.4				
5.二酸化炭素を排出しない原子力エネルギーへ転換する	55	19.3				19.3				
6.今後エネルギー使用量の増加が見込まれる開発途上国への、省エネルギー技術の指導など国際的な取り組みを進める	118	41.4				41.4				
7.特に対策の必要はない	1	0.4	0.4							
8.その他	8	2.8		2.8						
無回答	10	3.5				3.5				
サンプル数	285									

### 【特に対策の必要はない理由】

- ・米国、中国等大きくエネルギーを消費し、CO<sub>2</sub>を出している国に、もっと働きかけ、省エネを推進させるべき

### 【その他の意見】

- ・国や行政がもっと率先して動くべき。日本はもう出遅れている。
- ・アメリカ、中国、インド京都議定書に即刻参加すべき
- ・都市部等、必要以上の夜間照明やイルミネーション等、控える
- ・国が科学技術分野には圧力すべき。
- ・問題に対応する施設にかかる建設費の少ない物を望みます。
- ・廃棄物より産出できる資源を海外に持ち出さない。
- ・エコ推進国モデルを一部で試してみて京都に合わせながらだんだんと広める

## 問3 京都市内にクリーンエネルギー等を導入する場合に有効と思うもの

太陽光発電が最も多く、次いで廃棄物発電、廃棄物熱利用等、太陽熱利用の導入などとなっている。

選択割合は 回答数/サンプル数

質問	回答数(件)	選択割合(%)	0	20	40	60	80	100
1.太陽光発電	226	79.3						79.3
2.太陽熱利用	170	59.6						59.6
3.風力発電	72	25.3						25.3
4.廃棄物発電,廃棄物熱利用等	173	60.7						60.7
5.バイオマス発電,バイオマス熱利用等	100	35.1						35.1
6.温度差エネルギー	35	12.3						12.3
7.クリーンエネルギー自動車	153	53.7						53.7
8.雪氷熱利用	21	7.4						7.4
9.天然ガスコージェネレーション	36	12.6						12.6
10.燃料電池	66	23.2						23.2
11.中小水力発電	58	20.4						20.4
12.スマートグリッド	61	21.4						21.4
13.その他	6	2.1						2.1
無回答	5	1.8						1.8
サンプル数	285							

【その他の意見】

- ・地熱発電
- ・この問3, は非常にむづかしい問題で一問だけとはいかない
- ・自転車をこぐことによって自家発電, 蓄電できるようにはならないのでしょうか。
- ・無駄な建設費がかからない市民が理解出来る施設。
- ・風力デンキ
- ・人類が地球を支配している間は強制力の伴う規正がなければ駄目

問4 京都市内にクリーンエネルギー等を導入する場合に望む活用方法

公共施設への活用が最も多く, 次いで学校, 一般住宅への活用となっている。主要な集客施設でのシンボリック活用は 15.8%と少ない。

選択割合は 回答数/サンプル数

質問	回答数(件)	選択割合(%)	0	20	40	60	80	100
1.一般住宅への活用	159	55.8						55.8
2.公共施設への活用	224	78.6						78.6
3.学校への活用	187	65.6						65.6
4.一般企業・事業所・農林水産業への活用	134	47.0						47.0
5.自動車への活用	123	43.2						43.2
6.エネルギー供給事業所への活用	52	18.2						18.2
7.防災時非常用電源としての活用	85	29.8						29.8
8.主要な集客施設でのシンボリック活用	45	15.8						15.8
9.地域の売電事業としての活用	35	12.3						12.3
10.地域振興策(雇用確保等)としての活用	69	24.2						24.2
11.特に利活用を進める必要はない理由:	0	0.0	0.0					
12.その他	1	0.4						0.4
無回答	14	4.9						4.9
サンプル数	285							

【特に利活用を進める必要はない理由】

- ・データなし

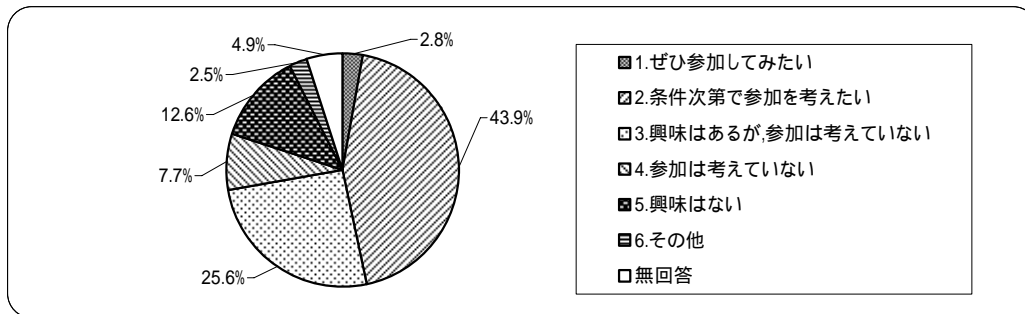
【その他の意見】

- ・社会的弱者への活用

問5-1 クリーンエネルギー市民共同発電所についての考え

市民共同発電所への参加は, 「条件次第で」も含めて, 5割近くが参加に前向きな回答であった。

業種	質問	回答数(件)	回答割合(%)	計
全体	1.ぜひ参加してみたい	8	2.8	285
	2.条件次第で参加を考えたい	125	43.9	
	3.興味はあるが、参加は考えていない	73	25.6	
	4.参加は考えていない	22	7.7	
	5.興味はない	36	12.6	
	6.その他	7	2.5	
	無回答	14	4.9	



### 【興味はあるが、参加は考えていない理由】

- ・むずかしい
- ・”共同”というのがややこしそう
- ・よくわからない
- ・詳細を理解できていないため。
- ・小さな子供がいるので参加は難しい
- ・長く続けるような仕組みが必要
- ・出資の余裕がない将来は？
- ・年寄り心臓病の為
- ・経済的に無理が有るのでは
- ・効果が小さい
- ・他にやりたいことがある為
- ・時間と余裕がない
- ・営利目的が優先されそうだから。
- ・資金源
- ・年齢の面、健康面
- ・以前に太陽光発電を検討したが、割に合わなかった。
- ・手続きなどがわずらわしい。
- ・年令的に出資した分、元が取れるかどうかを考えると・・・。
- ・設置のお金出資するのだから発電した電力は、無料で供給してほしい。維持費を支払うのはやむ得ないと思いますが・・・
- ・体調不良
- ・いろいろ大変なことが有るから
- ・参加できる条件が整わない。
- ・高齢のため。
- ・一般的になれば参加する
- ・年齢的に無理
- ・経済的に無理
- ・公共的取組にすべき
- ・良いかわるいかわからない
- ・問5 - 2を見て物理的に無理があると判断した。
- ・具体的なイメージがわからない。
- ・具体的内容がわかれば参加を考えたいが・・・。
- ・提供する場所などが無い
- ・病気のため
- ・参加できる時間的余裕がありません
- ・協同住宅の為
- ・年令の壁
- ・集合住宅のため

### 【参加を考えていない理由】

- ・本来行政が行なうもの
- ・出資できる余裕がないため。
- ・協力出来るものがないから
- ・1 / 5
- ・市民に理解されていない為
- ・地球温暖化に疑問を持っている
- ・前問1・3・5の回答に該当する。事業会社と個人が考える供同発電所は中途半端なものになる可能性大。
- ・出資は考えていない
- ・むづかしくてわからない
- ・時間の余裕がない
- ・家族の数が減り、あまり必要ないから
- ・内容がいまいちよく分からない
- ・まだまだ遠い先の話のようだから
- ・高齢で無理
- ・投資としての参加なら必要無いと思う。あくまで余った電力のみを売買すれば良いと思っている。

### 【その他の意見】

- ・資金力のある者がやるべき。まずは行政がやり、モデルを作るべき。
- ・雇用対策として市が募集し事業者と進めてはどうですか。
- ・判断するために必要な情報をまだもっていない

- ・年を考えると考えられない。子供達にはいいことかも。
- ・反対（分散することでコストやCO2の増になるのではないか）
- ・わからない

### 業種別回答

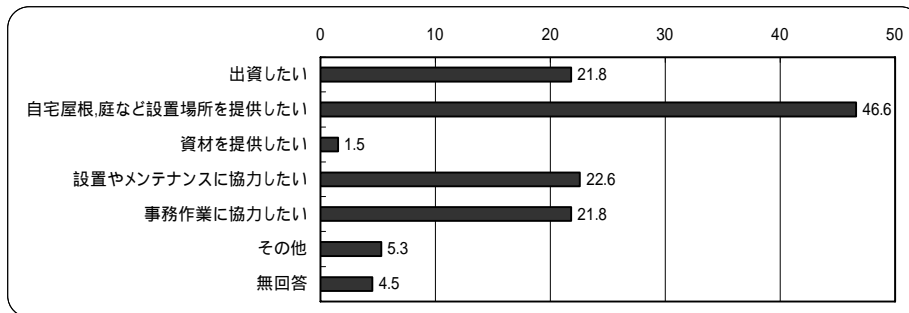
質問	合計	回答数(件)							回答割合(%)						
		た げ ひ 参 加 し て み	を 考 え た い	条 件 次 第 で 参 加	な 参 加 は 考 え て い	興 味 は あ る が い	な 参 加 は 考 え て い	興 味 は あ る が い	な 参 加 は 考 え て い	興 味 は あ る が い	な 参 加 は 考 え て い	興 味 は あ る が い	な 参 加 は 考 え て い	興 味 は あ る が い	な 参 加 は 考 え て い
1.農林水産業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2.自営業	27	1	15	4	3	1	0	3	3.7	55.6	14.8	11.1	3.7	0.0	11.1
3.会社員	69	1	35	14	6	9	3	1	1.4	50.7	20.3	8.7	13.0	4.3	1.4
4.公務員	7	0	3	0	2	2	0	0	0.0	42.9	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0
5.学生	14	1	7	3	0	3	0	0	7.1	50.0	21.4	0.0	21.4	0.0	0.0
6.パートアルバイト	25	2	9	8	1	5	0	0	8.0	36.0	32.0	4.0	20.0	0.0	0.0
7.主婦	54	0	25	17	4	5	2	1	0.0	46.3	31.5	7.4	9.3	3.7	1.9
8.無職	63	2	25	19	5	7	1	4	3.2	39.7	30.2	7.9	11.1	1.6	6.3
9.その他	11	1	5	2	1	1	0	1	9.1	45.5	18.2	9.1	9.1	0.0	9.1

問5-2 前問で1及び2と答えた方にお聞きます。どのような参加が可能ですか。

設置場所の提供が最も多い。

選択割合は 回答数/サンプル数

業種	質問	回答数(件)	選択割合(%)	計
全業種	1.出資したい	29	21.8	133
	2.自宅屋根・庭など設置場所を提供したい	62	46.6	
	3.資材を提供したい	2	1.5	
	4.設置やメンテナンスに協力したい	29	21.8	
	5.事務作業に協力したい	30	22.6	
	6.その他	7	5.3	
	無回答	6	4.5	



#### 【その他の意見】

- ・私は90才です。体力も金もありません
- ・現段階ではどういうカタチで協力できるかまだわかりません
- ・詳しい話を聞いてから考えたい。
- ・損益次第で参加の仕方は変わってくる。
- ・無料なら自宅屋根を使用してもよい。
- ・仕組み、その他在り方について意見を云いたい

### 業種別回答

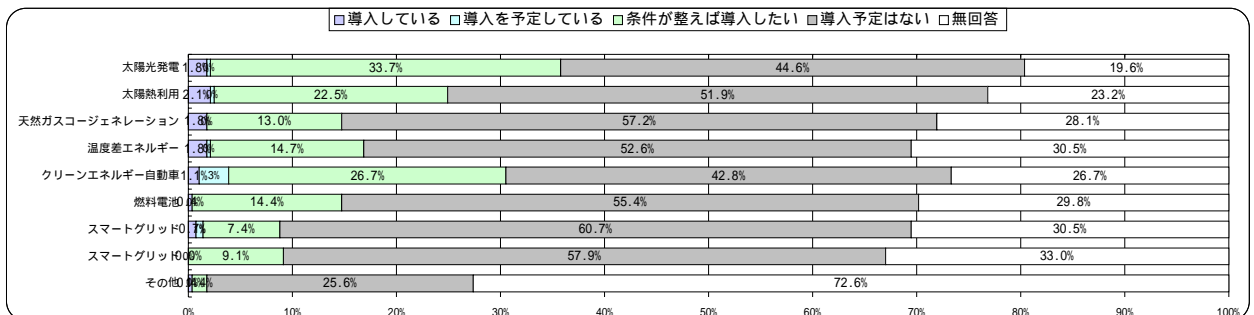
パート・アルバイトでは、設置場所の提供や設置やメンテナンスへの協力が多い。

質問	合計	回答数(件)							回答割合(%)							
		出資したい	設置場所を提示したい	自宅屋根、庭など設置場所を提示したい	資材を提供したい	設置やメンテナンスに協力したい	事務作業に協力したい	その他	無回答	出資したい	設置場所を提示したい	自宅屋根、庭など設置場所を提示したい	資材を提供したい	設置やメンテナンスに協力したい	事務作業に協力したい	その他
1.農林水産業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2.自営業	16	2	10	0	3	0	1	1	12.5	62.5	0.0	18.8	0.0	6.3	6.3	
3.会社員	36	11	19	1	8	7	4	0	30.6	52.8	2.8	22.2	19.4	11.1	0.0	
4.公務員	3	1	1	0	0	1	0	0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
5.学生	8	2	3	0	2	1	0	0	25.0	37.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	
6.パートアルバイト	11	1	8	0	5	4	0	0	9.1	72.7	0.0	45.5	36.4	0.0	0.0	
7.主婦	25	5	12	0	2	7	0	3	20.0	48.0	0.0	8.0	28.0	0.0	12.0	
8.無職	27	4	6	1	6	9	2	2	14.8	22.2	3.7	22.2	33.3	7.4	7.4	
9.その他	6	3	2	0	3	1	0	0	50.0	33.3	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	

問6-1 クリーンエネルギー等を導入していますか。また導入予定はありますか

「導入している」ものは、太陽熱利用、太陽光発電、天然ガスコージェネレーション等で、それぞれ全回答の2%程度である。「条件が整えば導入したい」は太陽光発電が最も多く、いずれのエネルギーも、挙げられた条件では、設置・維持に関する費用の安さが最も多い。

地区	質問	回答数(件)																
		導入している	導入を予定している	条件が整えば導入したい	条件が整えば導入したい(内訳)												導入予定はない	無回答
			1. 設置・維持に関する費用が安く	2. 購入時の助成金が整備される	3. クリーンエネルギー等の買取制度が拡充される	4. 設置費用を回収する期間が短くなる	5. クリーンエネルギー等の買取期間が延長される	6. 効率的な改良がすすむ	7. 更新時期が来れば	8. 事業所の建て替えや既存施設の更新時期が来れば	9. クリーンエネルギー等の効果や必要性が納得できれば	10. 身近な導入例が増えれば	11. 設置・維持の費用が導入による効果に見合えば	12. 行政の支援が得られれば	13. その他	無回答		
全地区	1.太陽光発電	5	1	96	45	15	3	5	1	2	2	13	0	0	5	5	127	56
	2.太陽熱利用	6	1	64	26	14	1	4	2	1	3	9	0	0	2	4	148	66
	3.天然ガスコージェネレーション	5	0	37	18	6	1	3	1	1	0	3	0	0	3	1	163	80
	4.温度差エネルギー	5	1	42	19	3	0	7	1	1	2	4	0	0	3	2	150	87
	5.クリーンエネルギー自動車	3	8	76	28	16	0	2	2	3	2	5	15	0	1	4	122	76
	6.燃料電池	1	0	41	18	4	1	3	1	1	1	6	1	0	2	3	158	85
	7.木質バイオマス燃料	2	2	21	6	4	1	4	0	1	0	2	1	0	2	2	173	87
	8.スマートグリッド	0	0	26	9	1	1	1	0	2	1	4	2	0	3	2	165	94
	9.その他	1	0	4	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	73	207



【その他のクリーンエネルギー対策】

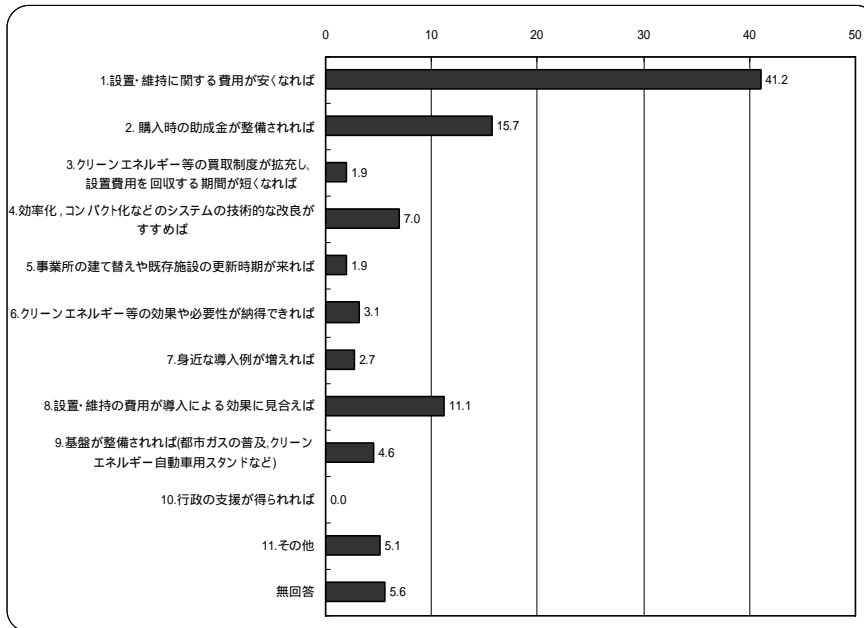
- ・地熱利用
- ・ハイブリット車利用
- ・風力発電

【導入を予定している】 導入までの期間

- 1. 太陽光発電 2年以内 1件
- 4. 温度差エネルギー 1年以内 1件

5. クリーンエネルギー自動車	1年以内	2件
5. クリーンエネルギー自動車	3年以内	2件
5. クリーンエネルギー自動車	5年以内	4件
5. クリーンエネルギー自動車	6年以内	1件
7. 木質バイオマス燃料	2年以内	1件
7. 木質バイオマス燃料	3年以内	1件

### 導入に必要な条件



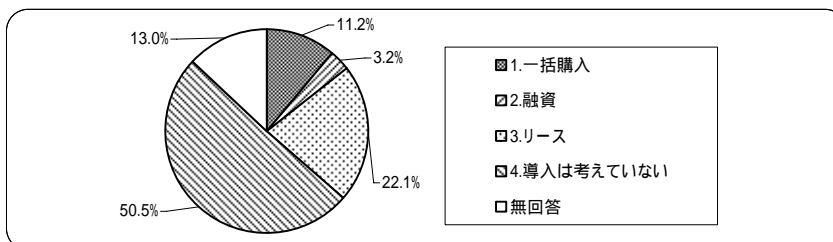
### 【条件が整えば導入 その他の条件】

- ・ 大家さん次第
- ・ 集合住宅用のシステムが開発されれば、設置スペースが確保できれば。
- ・ マンションに居住・・・管理組合による同意が必要
- ・ 無料で設置することができるなら
- ・ マンションなので、同意が得られれば、導入したい。
- ・ 現状では設置場所がない
- ・ いろんなデザインが増えたら購入したい。

### 太陽光発電システム導入方法について

導入を考えている場合、リースが最も多く、次いで一括購入，融資となっている。

地区	質問	回答数(件)	回答割合(%)	計
全地区	1.一括購入	32	11.2	285
	2.融資	9	3.2	
	3.リース	63	22.1	
	4.導入は考えていない	144	50.5	
	無回答	37	13.0	

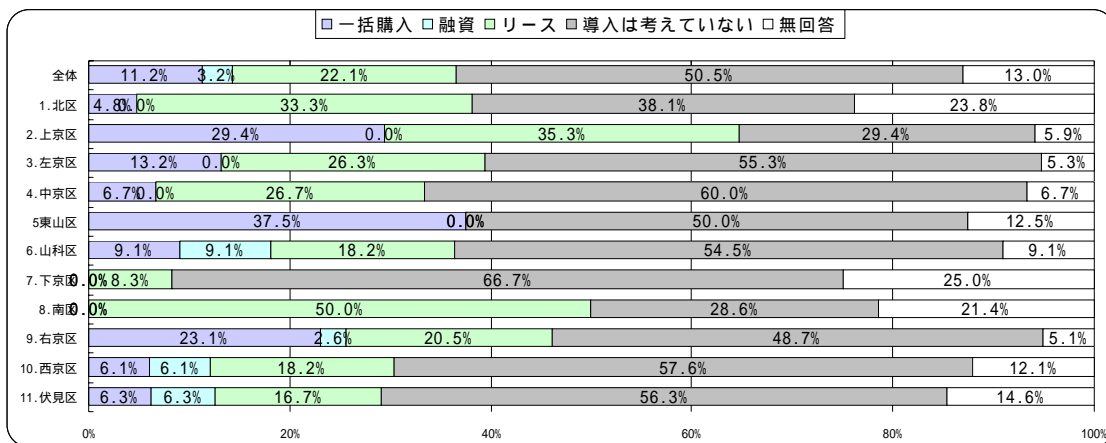


### 太陽光発電システム導入方法について（在住区別）



リースが多いのは南区，上京区，北区などで，一括購入が多いのは，東山区，上京区，右京区などとなっている。

質問	合計	回答数(件)					回答割合(%)				
		一括購入	融資	リース	な ない は 考 え て い	無 回 答	一括購入	融資	リース	な ない は 考 え て い	無 回 答
全体	285	32	9	63	144	37	11.2	3.2	22.1	50.5	13.0
1.北区	21	1	0	7	8	5	4.8	0.0	33.3	38.1	23.8
2.上京区	17	5	0	6	5	1	29.4	0.0	35.3	29.4	5.9
3.左京区	38	5	0	10	21	2	13.2	0.0	26.3	55.3	5.3
4.中京区	15	1	0	4	9	1	6.7	0.0	26.7	60.0	6.7
5.東山区	8	3	0	0	4	1	37.5	0.0	0.0	50.0	12.5
6.山科区	33	3	3	6	18	3	9.1	9.1	18.2	54.5	9.1
7.下京区	12	0	0	1	8	3	0.0	0.0	8.3	66.7	25.0
8.南区	14	0	0	7	4	3	0.0	0.0	50.0	28.6	21.4
9.右京区	39	9	1	8	19	2	23.1	2.6	20.5	48.7	5.1
10.西京区	33	2	2	6	19	4	6.1	6.1	18.2	57.6	12.1
11.伏見区	48	3	3	8	27	7	6.3	6.3	16.7	56.3	14.6



## 問7 家庭で行っている省エネルギー対策

電灯のスイッチをこまめに切るが最も多く，次いで冷暖房温度の適温設定，テレビのつけっぱなしをしない，などとなっている。

質問	回答数(件)	選択割合(%)	選択割合は 回答数/サンプル数					
			0	20	40	60	80	100
1.冷暖房を適温にしている	223	78.2	78.2					
2.電灯のスイッチをこまめに切るようにしている	230	80.7	80.7					
3.テレビのつけっぱなしをしないようにしている	195	68.4	68.4					
4.使っていない家電製品のコンセントは抜くようにしている	118	41.4	41.4					
5.家電製品の手入れ(エアコンのフィルターの掃除など)をこまめにしている	123	43.2	43.2					
6.冷蔵庫に食品を詰め込み過ぎないようにしている	128	44.9	44.9					
7.ガスや水の無駄遣いに気をつけるようにしている	194	68.1	68.1					
8.洗濯物はまとめて洗うようにしている	158	55.4	55.4					
9.省エネタイプの家電製品を購入するようにしている	114	40.0	40.0					
10.『くらしの匠』事業の取り組みを利用している	4	1.4	1.4					
11.『インターネット版環境家計簿』を利用している	1	0.4	0.4					
12.その他	6	2.1	2.1					
無回答	18	6.3	6.3					
サンプル数	285							

### 【その他の意見】

- ・自分なりのやり方で環境家計簿らしきものは、しています
- ・余分な消費はしない
- ・使っていない部屋の電気を消す。
- ・LED電球に換えていっている
- ・クーラーを入れない、暖房をなるべくつけない、自転車をつかう
- ・冷暖房は出来る限り使用しない。

## 問8 クリーンエネルギーや地球温暖化問題等に関する情報の入手方法

テレビ・ラジオが最も多く、次いで新聞・雑誌書籍，行政の広報紙・掲示板などとなっている。

質問	回答数(件)	選択割合(%)	0	20	40	60	80	100	
1.テレビ・ラジオから	247	86.7							
2.新聞・雑誌書籍から	200	70.2							
3.行政の広報紙・掲示板から	95	33.3							
4.インターネットから	53	18.6							
5.家族や友人・知人から	37	13.0							
6.勤務先・取引先など仕事を通じて	36	12.6							
7.講演会・セミナーなどから	5	1.8							
8.地域活動を通じて	13	4.6							
9.入手したことがない	6	2.1							
10.その他	8	2.8							
無回答	8	2.8							
サンプル数	285								

### 【その他の意見】

- ・ヨーロッパ等の先進環境国にヒントを求めるべき(特にドイツ)(市民一致の技術的改革も考へないと)
- ・大阪ガスの展示会 e t c .
- ・行政の広報及びインターネットは片よりが強く感じる
- ・特に情報を集めようとは思っていない
- ・いない
- ・交通機関の駅ポスターや電車内の車内吊りなど
- ・技術関係の仕事をしていたから

## 問9 クリーンエネルギー等に関する情報として入手したいもの

クリーンエネルギー等の導入際にかかる費用，補助制度が最も多く，次いで導入後の効果，設備に関する具体的・技術的内容などとなっている。

質問	回答数(件)	選択割合(%)	0	20	40	60	80	100	
1.クリーンエネルギー等の導入の必要性(エネルギー問題や地球温暖化問題の背景など)	107	37.5							
2.クリーンエネルギー等の設備に関する具体的・技術的内容	113	39.6							
3.クリーンエネルギー等の導入の際にかかる費用・補助制度	176	61.8							
4.クリーンエネルギー等の導入後の効果(費用面・環境面)	157	55.1							
5.クリーンエネルギー等の分布状況や利用できる可能性	52	18.2							
6.その他	12	4.2							
無回答	28	9.8							
サンプル数	285								

### 【その他の意見】

- ・地球環境を改善しないと世界的人口増加の中で人間が生存して行けない事を全員が自覚せしめる事が先決
- ・クリーンエネルギー等の情報は不要だと思う。クリーンエネルギーが環境に良いことは分かっている。
- ・その土地に向いているのか。あるものを利用しているのか、今やっていることを活用しているのか。
- ・現在、構想ばかりで進んでいる様には思えない。
- ・いない
- ・わからない

## 問 10 京都市がグリーンエネルギー等を普及啓発していく上で有効だと考えられる方法

市の広報紙等を利用した情報の提供が最も多く、次いで学校教育、体験する機会の提供などと続いている。

選択割合は 回答数/サンプル数

質問	回答数(件)	選択割合(%)	0	20	40	60	80	100
1.市の広報紙等を利用した分かりやすい情報の提供	190	66.7				66.7		
2.講演会の開催やパンフレット等の作成	36	12.6		12.6				
3.学校教育の中でのエネルギー・環境学習の推進	164	57.5				57.5		
4.グリーンエネルギー等の設備を実際に体験できる機会の提供	139	48.8				48.8		
5.グリーンエネルギー等の設備を導入する際の補助制度の整備	125	43.9				43.9		
6.専門家の派遣や相談窓口の整備	28	9.8		9.8				
7.学校や庁舎等、公共施設へのグリーンエネルギー等の設備の導入	125	43.9				43.9		
8.市民・事業者や地域の各種団体との共同による取組の推進	48	16.8		16.8				
9.景観保全・観光も考慮した京都市らしい制度の創設	87	30.5				30.5		
10.その他	5	1.8		1.8				
無回答	16	5.6						5.6
サンプル数	285							

### 【その他の意見】

- ・ 第三者議会（専門家）と市との連携を責任信念を持ってリーダーシップを発揮してほしい。
- ・ 市で行う必要はない
- ・ 公共交通機関の広告で周知させる。
- ・ 国や自治体が本気で実行しようとする姿勢
- ・ 技術開発や普及に向けた研究開発を自治体（又は国）として計画に取り組むこと。

## 問 11 関心がある、または見学したい施設

太陽光発電が最も多く、次いで廃棄物発電、廃棄物熱利用等、太陽熱利用などとなっており、それらを活用するスマートグリッドそのものには関心が低い。

選択割合は 回答数/サンプル数

質問	回答数(件)	選択割合(%)	0	20	40	60	80	100
1.太陽光発電	167	58.6				58.6		
2.太陽熱利用	103	36.1			36.1			
3.風力発電	60	21.1		21.1				
4.廃棄物発電・廃棄物熱利用等	109	38.2				38.2		
5.バイオマス発電・バイオマス熱利用等	90	31.6				31.6		
6.温度差エネルギー	43	15.1		15.1				
7.グリーンエネルギー自動車	71	24.9				24.9		
8.雪氷熱利用	25	8.8		8.8				
9.天然ガスコージェネレーション	28	9.8		9.8				
10.燃料電池	56	19.6				19.6		
11.中小水力発電	52	18.2				18.2		
12.スマートグリッド	39	13.7				13.7		
13.その他	13	4.6		4.6				
無回答	27	9.5						9.5
サンプル数	285							

### 【その他の意見】

- ・ 地熱発電
- ・ 現場には興味ない。
- ・ 1～12迄全てについて関心有り
- ・ 見学してみたいが病気のためできない
- ・ 特に施設を見学したいとは思わない。
- ・ 水車の復活（小中学生の野外学習に使う）
- ・ わからない
- ・ 病気の為3日1程度買物にいくだけです

## 問 12 木質バイオマス燃料以外の森林の木材利用についての考え

木材を利用した建築物の推進が最も多く、次いで木製の家具利用、内装・外装等の木製品利用拡

大などとなっている。

質問	回答数(件)	選択割合(%)	選択割合は 回答数/サンプル数				
			0	20	40	60	80
1.木材を利用した建築物を推進すべき	185	64.9	64.9				
2.内装・外装等の木製品の利用を拡大すべき	66	23.2	23.2				
3.木製の家具利用を拡大すべき	114	40.0	40.0				
4.木製品の小物の利用を拡大すべき	59	20.7	20.7				
5.利用拡大する必要はない	13	4.6	4.6				
6.その他	21	7.4	7.4				
無回答	22	7.7	7.7				
サンプル数	285						

【内装・外装等に木製品の利用を拡大すべき その用途について】

- ・間伐材の様々な利用
- ・アレルギー対策
- ・パソコン
- ・床材
- ・壁板等々
- ・天井 カベ等のクロス部分を木製素材にする。
- ・集成機、ファイバーポート等
- ・内装の壁。天井板
- ・床材、壁材、天井材
- ・外壁など
- ・木製家具、調度品等
- ・建物の壁等の内装 コスト的に安くなれば
- ・内装のクロスの代わりに
- ・天井板、戸、板ベイ等
- ・木製内・外装の市電

【利用拡大する必要はない、その理由】

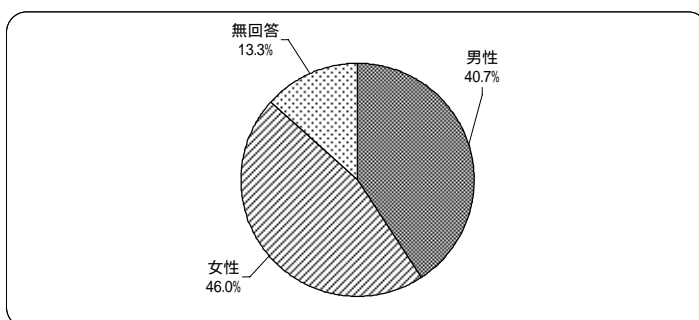
- ・消費するための植林は不要と考える
- ・利用拡大しなければならぬことはないと思う
- ・森林を減らす事なく、維持できればそれでいいから
- ・上記の利用拡大次第では、必要以上の森林、木材が必要、消費される可能性があるため
- ・わからない
- ・森林の保護、植林
- ・緑化運動に逆行します
- ・森林ばっさいの必要性に考慮
- ・森林破壊につながる。木を使わなくても、二酸化炭素吸収源できるもの考えるべきである。

【その他の意見】

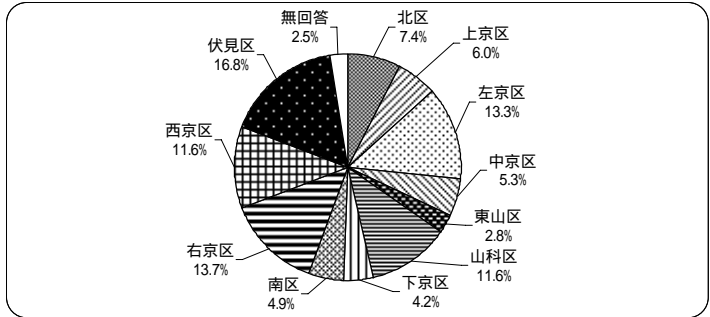
- ・森林伐採反対
- ・森林利用と手入れする人材の育成が必要
- ・雇用対策としてまず森林を整美する人を市が行い、山をもっと利用する。
- ・レトロでモダンな木炭自動車、バス(市バス)の実現(馬力アップは最新の技術力で実現してください。)
- ・紙への活用等有効活用に向けた研究。
- ・建築をするのも大切だが、森林が減少していかないように植樹もしていくことが大切だと思います。(利用するだけでなく増やしていく。)
- ・何故そういう考え方もあるのかが分からないのでコメントできない
- ・問題の意味がわからない
- ・海外輸出
- ・その木材で森林を増やすことはできないのでしょうか。
- ・林業振興、雇用問題をして考えるべきで、CO2削減と安易に結びつけるべきでない
- ・利用するのに木製品の金額を高額にすると意味がなくなるかも？
- ・利用方法を考えると森林伐採につながるのでは？
- ・木材利用は良い事と思いますが、その材料となる木材そのものを国内生産でなく、輸入にたよっている点を、国内林業のあり方と今後を検討したのちに、考えたい。
- ・導入済

サンプル属性

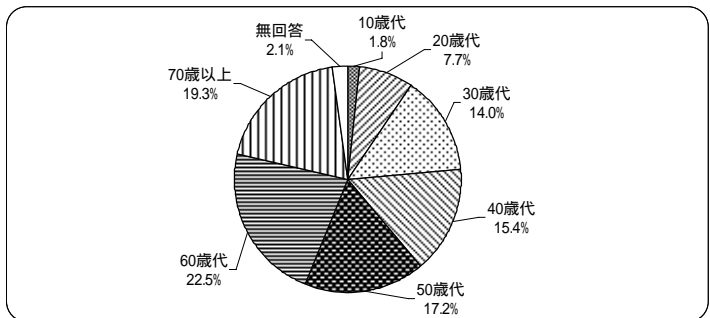
性別	回答数(件)	回答割合(%)
1.男性	116	40.7
2.女性	131	46.0
無回答	38	13.3
計	285	100.0



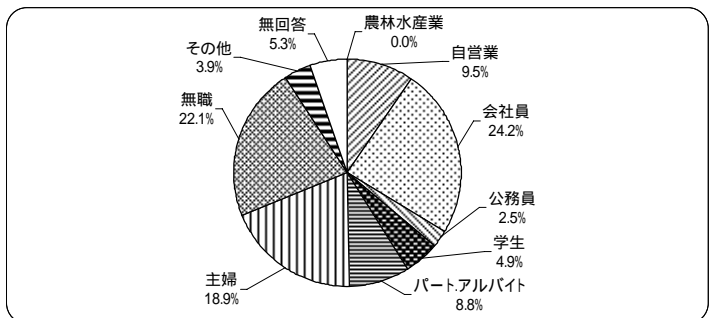
在住区	回答数(件)	回答割合(%)
1.北区	21	7.4
2.上京区	17	6.0
3.左京区	38	13.3
4.中京区	15	5.3
5.東山区	8	2.8
6.山科区	33	11.6
7.下京区	12	4.2
8.南区	14	4.9
9.右京区	39	13.7
10.西京区	33	11.6
11.伏見区	48	16.8
無回答	7	2.5
計	285	100.0



年齢	回答数(件)	回答割合(%)
1.10歳代	5	1.8
2.20歳代	22	7.7
3.30歳代	40	14.0
4.40歳代	44	15.4
5.50歳代	49	17.2
6.60歳代	64	22.5
7.70歳以上	55	19.3
無回答	6	2.1
計	285	100.0



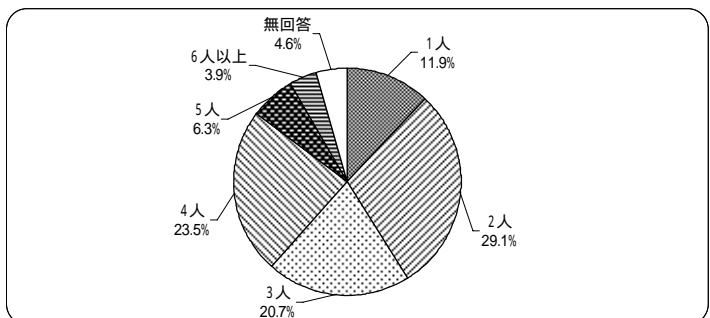
職業	回答数(件)	回答割合(%)
1.農林水産業	0	0.0
2.自営業	27	9.5
3.会社員	69	24.2
4.公務員	7	2.5
5.学生	14	4.9
6.パート・アルバイト	25	8.8
7.主婦	54	18.9
8.無職	63	22.1
9.その他	11	3.9
無回答	15	5.3
計	285	100.0



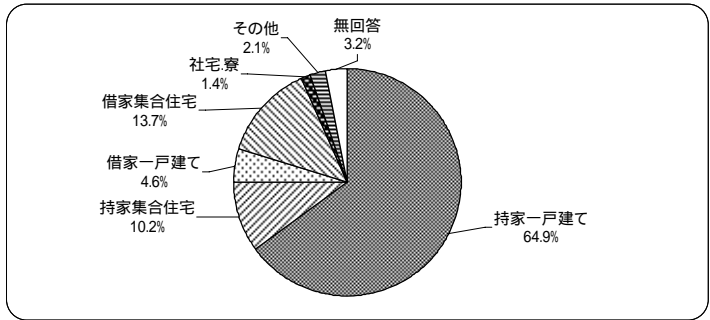
### 【職業-9.その他】

- ・ 看護師
- ・ 医療関係
- ・ 年金受給者
- ・ 派遣社員
- ・ 専従者
- ・ 医師
- ・ 定年退職
- ・ 大学教員
- ・ 会社役員
- ・ 飲食店経営
- ・ 団体職員

世帯人員	回答数(件)	回答割合(%)
1.1人	34	11.9
2.2人	83	29.1
3.3人	59	20.7
4.4人	67	23.5
5.5人	18	6.3
6.6人以上	11	3.9
無回答	13	4.6
計	285	100.0



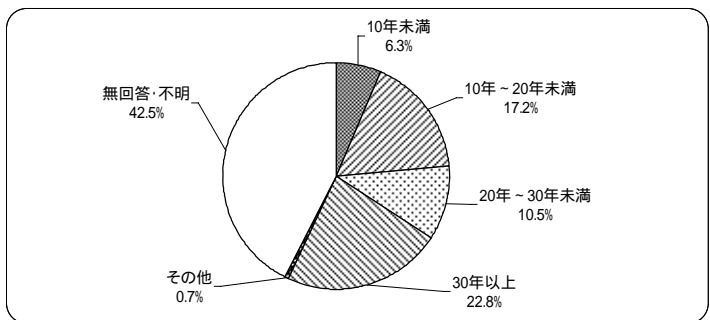
住まいの形態	回答数(件)	回答割合(%)
1.持家一戸建て	185	64.9
2.持家集合住宅	29	10.2
3.借家一戸建て	13	4.6
4.借家集合住宅	39	13.7
5.社宅寮	4	1.4
6.その他	6	2.1
無回答	9	3.2
計	285	100.0



### 【住まい-6 その他】

- ・ 公団
- ・ マンション
- ・ 市営住宅
- ・ 公団住宅
- ・ 連棟

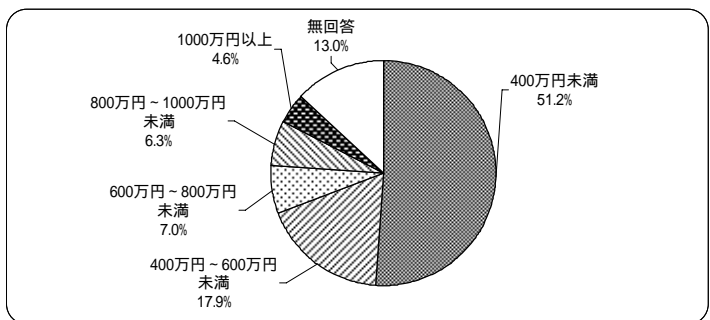
持家一戸建て(築年)	回答数(件)	回答割合(%)
10年未満	18	6.3
10年～20年未満	49	17.2
20年～30年未満	30	10.5
30年以上	65	22.8
その他	2	0.7
無回答・不明	121	42.5
計	285	100.0



### 【持家一戸建て(築年)-その他】

- ・ 戦前～
- ・ 改築10年

年収	回答数(件)	回答割合(%)
1,400万円未満	146	51.2
2,400万円～600万円未満	51	17.9
3,600万円～800万円未満	20	7.0
4,800万円～1000万円未満	18	6.3
5,1000万円以上	13	4.6
無回答	37	13.0
計	285	100.0



将来の京都市とエネルギーのあり方，理想像など（自由記述）

性別	年齢	コメント
男性	10歳代	太陽光発電・太陽熱利用の推進がよい
	20歳代	京都ならではのエネルギー利用を考える
		太陽光発電の設置費用を低価格にして義務づける
		クリーンエネルギー活用、言い換えるならば環境対策の事だとは思いますが、それを考えるにあたり「京都市」と限定されるとなかなか難しいものがありました。世間では「エコ」という言葉が一人歩きし、ビジネス用語等でも定着し過ぎて何の重みも感じられない気もしますが、京都市であれ府であれ、意味のある、内容のある環境活動が京都から広がるのであれば私も応援、協力したいと思います。
		全ての学校に太陽光発電等の設置を推進するべき。 エネルギー問題だけでなく、微妙ながらも工事業者への仕事につながり、景気にも好影響が出るかもしれない。
		ライトダウン等々の取り組みはよい。ある程度強引にエコへの取り組みを推進してもよい
	30歳代	クリーンエネルギー導入に関して、行政が対策を採るのが望ましい
	政令指定都市として、他の都市の見本となるような取り組みが市民全体で行えると良い また、観光客等、他の都市から来た人にも参加してもらえるような取り組みが必要だと思う	
	深夜営業の夜間タイ店内照明をさげる。 自家用車の規制を行う	
	再生エネルギーの技術も発展させて一方通行的エネルギー消費からの脱却をはかるのが良いと思う	
	薪ストーブを利用していますが、廃材を安く供給してもらえる仕組みがあれば、非常に助かる 初期投資が安く済むのであれば、太陽光発電にも興味がある	
	エネルギーの外部への販売、輸出	
	一般に広く理解してもらう為の広報活動をもっと積極的に行なったほうがよいと思う	
	廃棄物をエネルギー利用する 石油に変わるエネルギーの導入	
	市民に興味を持ってもらう為には具体的に例をあげ、メリット、デメリットを示してもらいたい 将来の京都市ではお年寄りにとって住みやすい町づくりを目指してほしい エネルギー利用については市民に十分に浸透したうえで、市民が率先してエネルギーの利用について考えて、行動できるよう、導いていただけたらよいと思う	
	各個人でやれる事は小さな力ですが企業や行政も一丸となってやっければエネルギー問題は解決すると思う	
	40歳代	京都ならではのエネルギー利用を考える 市全体がエネルギー問題に取り組む事が理想です クリーンで安全なエネルギー利用を希望。 太陽、風、水などを個人宅でも利用しやすいものが希望 観光地の景観を維持しながらエネルギー自給率の高い都市である事がよい 石油からエネルギーを得るのではなく、グリーンエネルギーの効率化を計れば良いのではないかと思う 家庭で活用できるグリーンエネルギーの種類と費用面、規模等のメリット、デメリットの比較表みたいな物があればありがたい 現在では各エネルギーがそれぞれにメリットだけを広告している様に思う 果たして、自分の家には何が一番良いのかが判りづらい 市内の移動は自転車有効と思う 駐輪場(可能な限り安価又は無料)の充実 フリーで使える自転車を街中の色々な場所にプールする 放置やルール無視、メンテナンス等の問題もあるが、新たな雇用に繋がればよいと思う 一般の人々の生活に実際に導入できる取り組みを展開してほしい 石油原料による二酸化炭素配の自然破壊が今後の環境維持を心配されているので、石油に変わる、第2のエネルギーを、作り、活用して行く事が望ましい。
	50歳代	京都ならではのエネルギー利用を考える 公共施設に雨水利用・太陽発電等の設置をする 将来、低コストのものが出来れば各家庭で取り組みが進むと思う 基本的に京都市住民の意志統一による太陽光発電が現実として望ましい 古都であるが、環境やエネルギーの分解では、最新の技術を取り入れた街づくりに取り組んでほしい スマートグリッド、市バスのEV化、公共施設の照明のLED化など 出来るだけCO2を出さないよう、地球温暖化を防止する為に太陽光発電等のエネルギー利用を推進すべきであると思う。 京都市も積極的に、アピールすべきと思います。 新しい町を目指すのか、古き都を残すのか、そこからエネルギーの将来を今の子供達に伝えて行くのか、私達世代の親が、しっかり見極めて行く事が京都の将来にかかわって来ると思う 環境や景観を守りながら、クリーンなエネルギーの利用が理想。 家庭用太陽光発電や小規模風力発電(小学校に設置されている)を拡大させる為に助成金等を多くする 又、売電だけでなくバッテリー等を追加する事で災害に強い都市が出来るとは思わないかと思う 排ガス装置を付けたトラック以外は乗入れ禁止する 観光シーズンには、クリーンエネルギー自動車以外の乗入れ禁止とパーク＆ライトの併用すれば、渋滞に解消され排ガスも軽減できると思う 空気をきれいにする方向でのクリーンエネルギー利用がよい 太陽光発電と風力発電とバイオ(海そう等)の利用がよい 環境へのダメージが少ない方法を採用していく事。 コストが安くする事。 長期的に考える事。 エネルギーは、その時に一番安く安全で熱効率の良い物をその時代の人が選択すれば良い

性別	年齢	コメント
男性	60歳代	高齢者に優しい環境を提供していただけるようなエネルギーの供給や利用がされていけばよい
		クリーンエネルギーですべてのエネルギー利用がしてあるのが理想です
		自然を生かし、自然を利用したエネルギー対策が必要である
		公共物等にもっと省エネのモデルを導入して、市民に利便性、安全性、環境等をアピールする
		バイオマス発電、バイオマス熱利用等が望ましい
		技術を有する企業が共同して環境問題に取り組むとよい。又、行政は企業が参入し易い環境を作る
		石油の消費を少なくするために他のエネルギーを開発してほしい
	70歳以上	一般家庭や公共施設(学校など)の消費電力はクリーンエネルギーでまかなえるようにした方がよい
		ソーラの新設補助金や発電効率のよいソーラに切り替える時の補助金は必要である
		原子力、化石燃料からの脱却を推進する事が望ましい
		狭い場所、庭など簡単に設置出来るソーラなどの開発を進めて欲しい
		市バスを電気自動車バスにするか、昔のように市電にする。
		庁舎、学校等公共施設は先にクリーンエネルギーの設備を導入する
		自然の中でのものが一番いいと思う。
10歳代	太陽熱、雨水の再利用(トイレの小等はこれで十分)など、安く設備を利用できるように研究する事	
	各家庭に太陽光発電と太陽熱利用装置に全額補助をする事	
	年配者にもわかりやすい情報がほしい	
	バイオマス発電、バイオマス熱利用等が望ましい	
	クリーンエネルギーをそれぞれ適切な建物に設置していく。地域振興策を推進していく。	
	太陽光、太陽熱、燃料電池により電気及び温水を供給し有機廃棄物は発酵させ、CH <sub>4</sub> 及び肥料として近郊農場に供給、市民は不便さを感じない程度に電気、ガスを利用	
	風力発電について、市が導入の考がありますが府では風力発電ができていない。	
また府以外の県でも同じことが発生しているそうです。行政の考えをもうすこし見なおされては？		
女性	10歳代	各家庭で排出CO <sub>2</sub> の値が簡単に出来るような方策を考える
		住民の意識の向上が大切。
	20歳代	設置場所を最少限に効率良く簡単に取扱い出来て京都の景観を損なわない設備を計画してほしい
		無駄をなくす
		今以上に環境を、悪化しない、低コスト、高エネルギーを多くの京都市民に平均的に利用出来る、住みやすい市制を、理想と考え、又、実行してほしい
		原子力発電以外で他のエネルギーを利用すればよいと思う
		廃棄物が何かエコエネルギーに使用できればいいと思う
		原子力発電は二酸化炭素は排出しませんが、クリーンなエネルギーとは言えないと思うので、あまり推進しないでほしい
	30歳代	それよりも廃棄物を減らしたり、有効利用する方が良いと思います。
		ほとんどのご家庭が、安全、安心のエネルギーを使用できていること
		京都市はすごい、と全国の人々、そして世界の人々から思われるようになってほしい
		トローリーバスの再開(ガソリン車(市バスの廃止)
		廃棄物設備の熱利用(植物の育成業)
		ソ水の利用(発電力の向上)
家庭の生ゴミを土の肥料としてリサイクルして野菜を育てる		
野菜は植物なのでCO <sub>2</sub> の削減にもなると思う		
30歳代	観光地でのエコ、クリーンエネルギーの活用を増やしていけばよいと思う	
	各家庭からでは難しいので、公共の施設等からエネルギーを作り出し活用していく方が多くの人の目に見えてわかり、考えるきっかけになると思う	
	京都ならではのエネルギー利用を考える	
	太陽光発電がよい	
	ゴミを減らしていく	
	クリーンエネルギーの必要性を子どもの頃から理解できるようにする	
	導入の必要性や、費用、補助制度、導入後の効果等、知りたい情報が簡単にすぐ入手できるのが望ましい	
	クリーンエネルギーについてもっと詳しく知りたい。	
もっと大きく伝えれば関心が高まると思う		
30歳代	国は「採算の取れるエネルギー供給システム」の構築	
	市町村はお金についての考える(見込みや先見が甘いから)	
	地球の温暖化防止について改めて意識を変える必要があると思う	
	個々クリーンエネルギーについて、もっと分かりやすく、身近に感じるよう上手に必要性を伝えていかなければいけないと思う	
	すべての賃貸アパート、マンションに関しても太陽光発電のできるシステムを作り、全ての人がクリーンエネルギーを利用できる様な環境を作って欲しい	
	市役所等の役所から、クリーンエネルギーを導入し、一般市民の手本となる様、エントランス等にアピールするポスターなり、発電量、使用量の分る物を置いて、いかに利点があるかを、市民にアピールして導入の促進に貢献して欲しい。	
30歳代	車の排気ガスやゴミがない街づくりを進めていただければ良いと思う	
	太陽光エネルギーは良いと思う	
	エネルギー利用だけでなく、エネルギーをムダに使わなくてよい環境づくりを希望する	
	「京都で自転車にのって観光」というスタイルを定着させてほしい	
	公共の場や観光地などにクリーンエネルギー設備を整え、バスやタクシーなど電気自動車にしてみる	
	市民がエネルギー問題に興味を持つように、わかりやすいかたちでのキャンペーンなどを行い、意識向上を高める	



性別	年齢	コメント	
女性	40歳代	アンケートの意見が早々に生かされてほしい	
		京都ならではのエネルギー利用を考える	
		京都ならではのエネルギー利用を考える	
		学校など公共施設でエネルギーの利用がされてから一般家庭に普及されていくと思う	
		学校など公共施設へ活用してほしい。	
		個人個人が貴重なエネルギーを無駄に使う事なく、質素にしていく事からだと思う	
		クリーンエネルギー自動車の導入が望ましい	
		電気自動車やハイブリット自動車が普及すれば排気ガスも減ると思う 生ゴミからクリーンエネルギーを作ることが実用化されればよいと思う 各家庭で導入できるように設置・維持の費用が安くなればよいと思う	
	50歳代	クリーンエネルギーの開発と安価な提供 自然を多くとり入れた省エネの啓発 企業も自転車通勤のものには還元する 市民と十分な話し合いを設けて、市民の意識を高めてる	
		具体的にイメージが出来ないが、将来必要な事だと思う	
		エコエネルギーの推進がよい	
		雨水の利用で設置の補助をする	
		クリーンエネルギー自動車利用の呼びかけをする バス、タクシーもクリーンエネルギーにする 金銭的な問題が一番ある。費用がかかりすぎる。 マンションの屋上で太陽光発電や太陽熱利用に使用されたいと思う	
		バイオ方面で何かできればよいと思う 小さい内から意識付けする事も大事だと思う 今回、こんなにお金をかけてアンケートをとって、本当にそれが役に立つのか？形だけで終わるのなら無駄遣いですね。	
		他府県から時代遅れと言われてもいいから古都京都を守る為、自然を大切にし環境にやさしいエネルギーを使っていけばいいと思う。 太陽光発電の技術(費用とスペース)が進み、全家庭、全企業がそのみでエネルギーをまかなえる様になれば良いと思う	
		京都ならではのエネルギー利用を考える	
	60歳代	自然を大切に 行政からの見直しが必要と思う 京都ならではのエネルギー利用を考える 電気で走るトロリーバスが懐かしい クリーンエネルギーの自動車のリースなどを進めたいと思う クリーンエネルギー自動車の導入がよい 将来のエネルギー利用のあり方を市民に認知させることへの継続的及活動が必要 せめて公共施設だけでもクリーンエネルギーを利用して欲しい。 京都は、神社、仏閣等が多く有り、景観を損なわない様にする必要がある為、太陽光発電他、制限が多々あり、市内より、山(森林)川等に設置できる物を、各家庭の少ない努力等が、多く集まれば少しでもエネルギー源につながると思う。 公共の施設に、必ず、設備して、将来に結果が出ると思う。 個人がクリーンエネルギーの言葉を意識していれば、色々な面で、注意して行動すると良い方向に向かうと思う 太陽・水・風・ゴミ等の燃料源の発展が望ましい事は、あたり前のことですが、それを実現する為の総合的計画と費用のあり方を具体的に進める事が大切だと思う 雨水の再利用(貯水タンク)生ゴミの肥料化、等、個人的に出来ることの推進から市民の意識付けを拡大したり、やはり温暖化の危険をもっと広報すべきだと思う。 昔は生活のほとんどが環境にやさしかったと思う 家庭でできる範囲の省エネ対策、レジ袋有料化マイバック持参、てんぷら油回収協力をしている 公共の立場で太陽光発電や太陽熱利用、廃油からのバイオディーゼル燃料化事業などの案を考えている事と思う まず公的な所から利用してその結果が、有効であれば一般企業等へその後一般家庭へ進める事が良いと思う エネルギーの問題ではないかもしれませんがごみ集めをもっと迅速にやってほしい 不必要な電力の使用削減をする	
		私の死後子供達が住んでくれるなら考え見ようかと思いましたが、このまゝで1人住まいで高齢の身で後継ぎもこの家いらない言ってしまう。	
		太陽光発電・太陽熱利用がよいと思う	
		京都市は他の街と比べて何事も立ち遅れていると思うのでもっと積極的に動いてほしいと思う	
		市内の小中学校で (1) 土のグラウンドを全て丈夫で安価な芝生にすること(NPO、市民協働で実現する) 校舎に、小型の風力発電(ゼファー社製)設置 木造校舎、屋上庭園の導入 (2) 三条通、堀川、西高瀬川、高瀬川、疎水(二条、伏見)の運河を再整備し、産業用の水路兼観光事業として併用できる”21世紀の運河”をつくって下さい。 年金生活者にも楽に取り組めるようにしてほしい。	
		公共物に太陽光発電を設置する 戸建は助成で可能な限りエコウィルエコキュートの設置、等、クリーンエネルギーを推進する 太陽熱利用がよい	
		70歳以上	

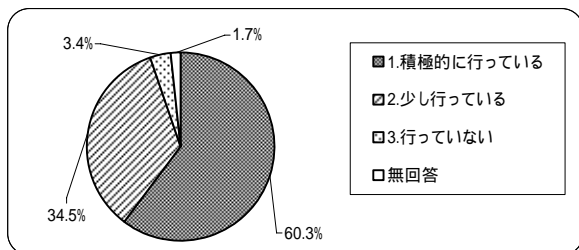
性別	年齢	コメント
無回答	10歳代	クリーンエネルギーを最大限に活用し、無駄のないエネルギーの利用がよい 日本の最先端を行くエコな地域を目指してほしい
	40歳代	クリーンエネルギーを使う方が得だとか便利だということにならないといけない
	60歳代	太陽発電 水力発電 風力発電等の設備を十分に出来る様市民が参加して啓発していく 設置場所を決める
		緑を増やす
		不要になったものはすべてが資源のかたまりなので再利用する方法を生む知恵と努力が必要だと思う 寺のライトアップ即廃止すべき
	70歳以上	エネルギー問題は一市民の力ではむり、今回の質問は、利用出来、不出来は答えにくい問題なの市の方々にお考えい ただき市民に良きアドバイスしてほしい
		建設予定の水族館を京都の山の材木を使って和風らしい建て物にしてほしい 京都ならではのエネルギー利用を考える

(2) 事業者

問1 地球温暖化防止に関する取組の実施

何らかの取組を行っている事業者が最も多い。

質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.積極的にやっている	70	60.3
2.少しやっている	40	34.5
3.行っていない	4	3.4
無回答	2	1.7
計	116	100.0



問2 取組の内容は何ですか。

(問1で「1.積極的にやっている」「2.少しやっている」を選ばれた方を対象)

省エネルギーに関する取組が最も多く、次いで廃棄物の減量・リサイクル、省エネルギー設備・機器の選択・導入などとなっている。

質問	回答数(件)	選択割合(%)	選択割合は 回答数/サンプル数				
			0	20	40	60	80
1.環境に配慮した製品の購入(グリーン購入)	60	55.6	55.6				
2.電気やガソリンの使用量削減などの省エネルギーに関する取組	94	87.0	87.0				
3.廃棄物の減量・リサイクルに関する取組	89	82.4	82.4				
4.省エネルギー設備・機器の選択・導入	85	78.7	78.7				
5.太陽光発電や風力発電等のクリーンエネルギー等の導入	28	25.9	25.9				
6.断熱材の使用や屋上緑化など施設の省エネルギー化	34	31.5	31.5				
7.地球温暖化やエネルギー問題に関する社内教育	52	48.1	48.1				
8.その他	8	7.4	7.4				
無回答	0	0.0	0.0				
サンプル数	108						

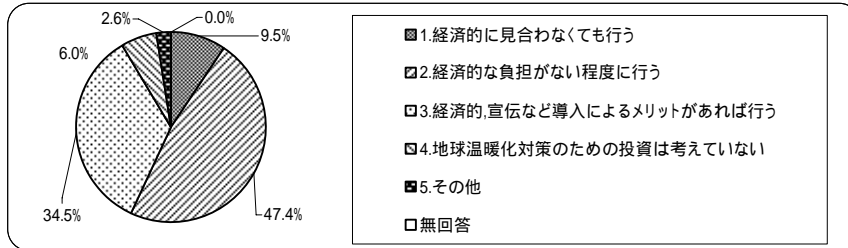
【その他の意見】

- ・ K E Sステップの取得
- ・ 省エネ、省資源、汚染防止など環境保全に貢献する製品群を開発、製造している。
- ・ K E S環境マネジメント・システム・スタンダード・ステップ2取得
- ・ C O 2排出権付商品や地産地消の商品販売
- ・ 設備改修企画設計プロジェクト検討委員会で推進している。
- ・ 自然エネルギーの実用化に向けた研究
- ・ 京都エコポイントモデル事業協会
- ・ 海外での植林

問3 地球温暖化対策のための投資について

「経済的な負担がない程度に行う」が最も多い。

質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.経済的に見合わなくても行う	11	9.5
2.経済的な負担がない程度に行う	55	47.4
3.経済的,宣伝など導入によるメリットがあれば行う	40	34.5
4.地球温暖化対策のための投資は考えていない	7	6.0
5.その他	3	2.6
無回答	0	0.0
計	116	100.0



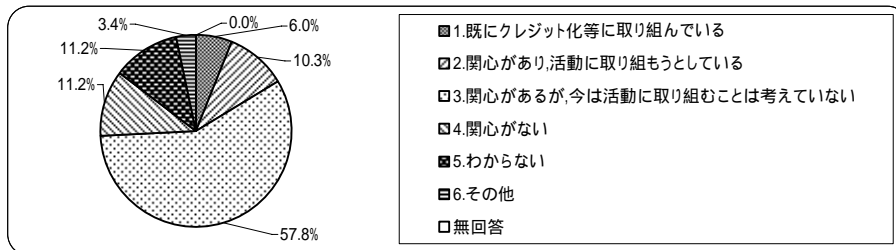
#### 【その他の意見】

- ・ 1, 2 共に近い考え
- ・ 大規模設備修繕時期に合わせて省エネ設備の導入を検討している。
- ・ 機器更新, 取替時に省エネルギーに, 更新している

#### 問 4 温室効果ガス排出量削減やエネルギー使用量削減に関する制度への関心

関心があるが,今は活動に取り組むことは考えていないとする事業者が半数以上であるのに対し,既に取り組んでいる事業者は6.0%である。

質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.既にクレジット化等に取り組んでいる	7	6.0
2.関心があり,活動に取り組もうとしている	12	10.3
3.関心があるが,今は活動に取り組むことは考えていない	67	57.8
4.関心がない	13	11.2
5.わからない	13	11.2
6.その他	4	3.4
無回答	0	0.0
計	116	100.0



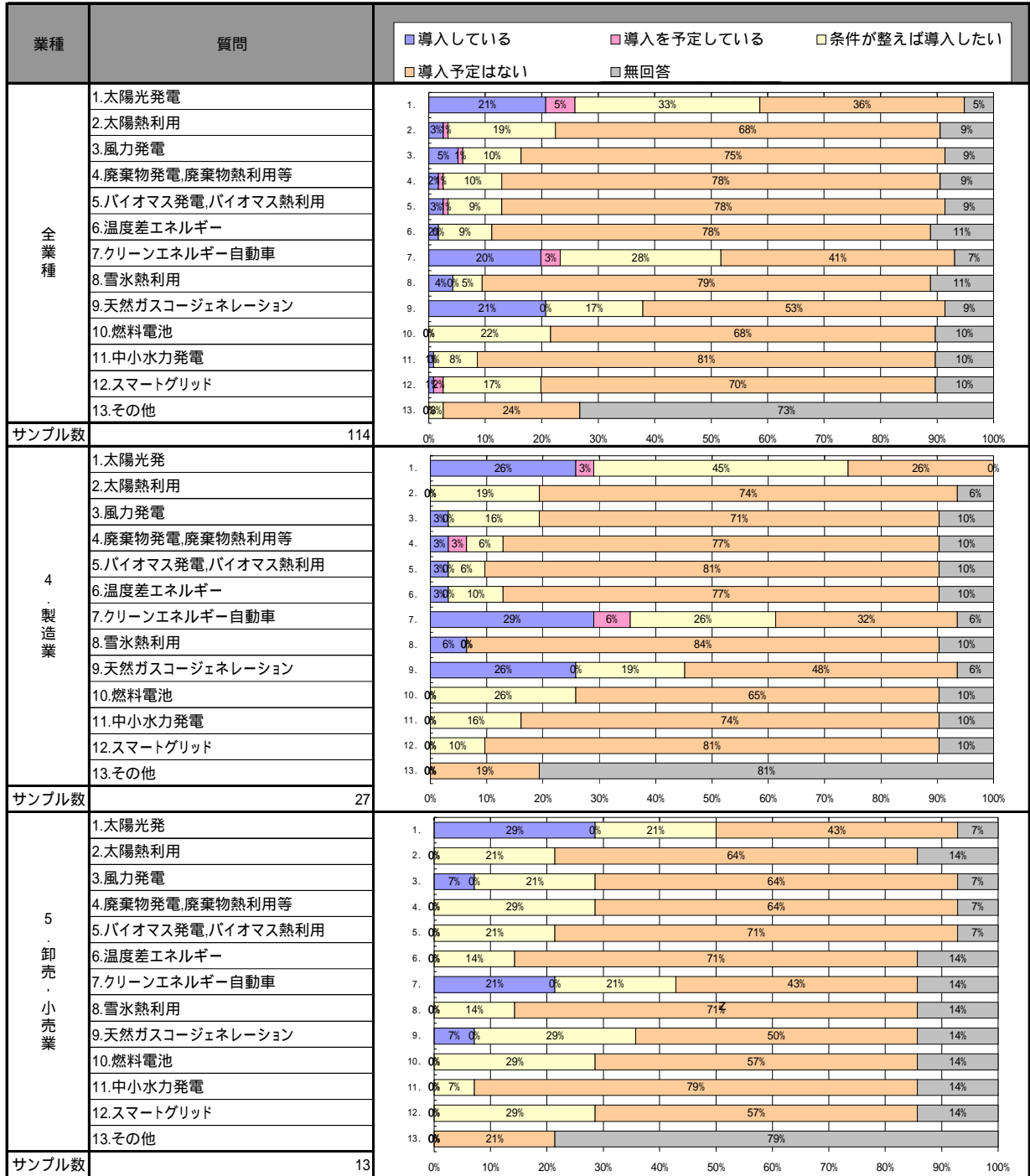
#### 【その他の意見】

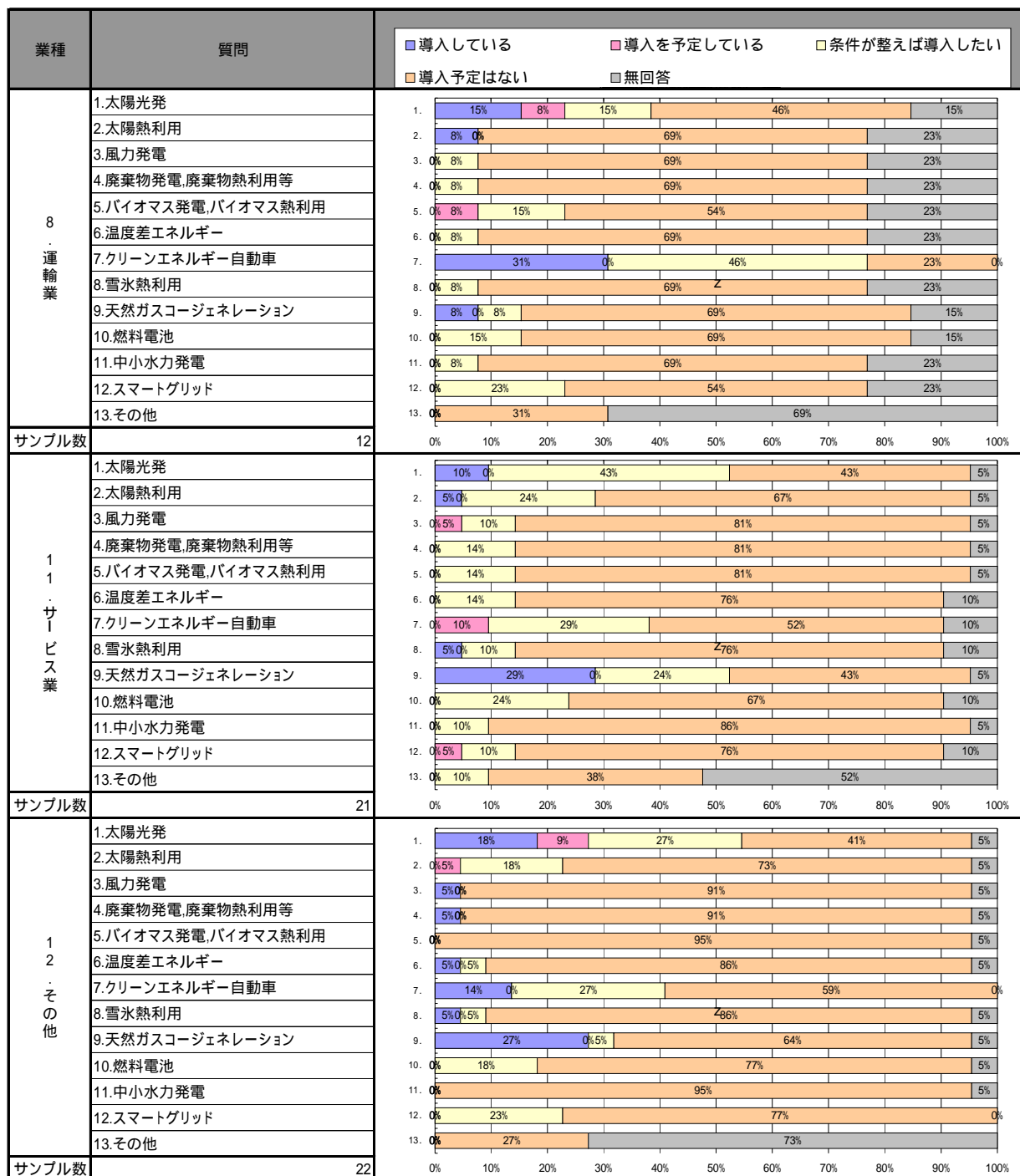
- ・ このような制度は導入すべきではない。
- ・ 中国やアメリカが参加しない温室ガス削減に疑問を感じます。取引業者だけがもうかるシステムに感じる
- ・ クレジットを購入し,お客様のカーボンオフセットに活用している。
- ・ 必要に応じて取り組む

#### 問 5 クリーンエネルギー等を導入していますか。また導入予定はありますか

業種別は, 10 以上のサンプル数があるもののみ示した。

太陽光発電及びクリーンエネルギー自動車, 天然ガスコージェネレーションの導入が多い。サービス業ではクリーンエネルギー自動車の導入が遅れている。





【【導入を予定している】 導入までの期間】

1.太陽光発電	1年以内	2件
2.太陽熱利用	1年以内	1件
3.風力発電	1年以内	1件
4.廃棄物発電,廃棄物熱利用等	1年以内	1件
5.バイオマス発電,バイオマス熱利用	5年以内	1件
7.クリーンエネルギー自動車	1年以内	3件
7.クリーンエネルギー自動車	3年以内	1件
12.スマートグリッド	1年以内	2件

【【条件が整えば導入】 導入費用を軽減できる制度(リース制度・融資制度)】  
データなし

**問6 クリーンエネルギー等を導入する理由は何ですか**

(問5で一つでも「導入している」「導入を予定している」と答えた事業者)

地球温暖化防止，エネルギーの有効利用が最も多く，ついで事業所のイメージアップなどとなっている。

選択割合は 回答数/サンプル数

業種	質問	回答数(件)	選択割合(%)	0	20	40	60	80	100
全業種	1.地球温暖化防止(環境保全)のため	40	72.7					72.7	
	2.エネルギーの有効利用のため	40	72.7					72.7	
	3.経済的にメリットがあるため	24	43.6					43.6	
	4.事業所のイメージアップのため	33	60.0					60.0	
	5.売電事業を行うため	0	0.0	0.0					
	6.補助制度があるため	7	12.7		12.7				
	7.特に理由はない	0	0.0	0.0					
	8.その他	0	0.0	0.0					
	無回答	2	3.6		3.6				
サンプル数		55							

**【その他の意見】**

データなし

業種別は，サンプルがあるもののみ示した。

質問	回答数(件)									選択割合(%)								
	4・製造業	5・卸売・小売業	7・金融・保険・不動産業	8・運輸業	9・情報通信業	10・電気・ガス・水道業	11・サービス業	12・その他	4・製造業	5・卸売・小売業	7・金融・保険・不動産業	8・運輸業	9・情報通信業	10・電気・ガス・水道業	11・サービス業	12・その他		
1.地球温暖化防止(環境保全)のため	13	5	5	3	1	1	5	7	0.0	100.0	83.3	60.0	100.0	100.0	71.4	63.6		
2.エネルギーの有効利用のため	13	5	2	2	1	1	6	10	0.0	100.0	33.3	40.0	100.0	100.0	85.7	90.9		
3.経済的にメリットがあるため	8	1	1	3	0	1	3	7	0.0	20.0	16.7	60.0	0.0	100.0	42.9	63.6		
4.事業所のイメージアップのため	13	3	3	2	1	1	2	8	0.0	60.0	50.0	40.0	100.0	100.0	28.6	72.7		
5.売電事業を行うため	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
6.補助制度があるため	2	2	0	1	0	0	1	1	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	14.3	9.1		
7.特に理由はない	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
8.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
無回答	0	0	1	0	0	0	0	0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
合計	18	5	6	5	1	1	7	11	-	-	-	-	-	-	-	-		

**問7 事業者がクリーンエネルギー等を導入するのに有効な行政の支援**

補助制度の充実が最も多く，次いで情報提供，見学会などとなっている。

選択割合は 回答数/サンプル数

質問	回答数(件)	選択割合(%)	0	20	40	60	80	100
1.クリーンエネルギー等に関する情報を提供する	54	46.6					46.6	
2.クリーンエネルギー等の設備に関する助成金などの補助制度を充実する	95	81.9					81.9	
3.事業者に向けた導入事例の見学会を開催する	37	31.9					31.9	
4.事業者に向けたクリーンエネルギー等に関するシンポジウムを開催する	18	15.5					15.5	
5.事業者と第3セクターを設立してクリーンエネルギー等で売電事業を行う	7	6.0					6.0	
6.事業者と市民が協力してクリーンエネルギー等で売電事業を行う仕組みをつくる	10	8.6					8.6	
7.地域振興につながるク.-エネルギー等に関する施策を推進する	31	26.7					26.7	
8.クリーンエネルギー等に関する相談窓口を設ける	17	14.7					14.7	
9.特に対策を講じる必要はない(理由)	2	1.7					1.7	
10.その他	0	0.0	0.0					
無回答	5	4.3					4.3	
サンプル数		116						

**【特に対策を講じる必要がない理由】**

- ・費用対効果が得られれば各事業所が取り組む

【その他の意見】

データなし

問 8 クリーンエネルギーや地球温暖化問題等に関して入手したい情報

導入費用や補助制度が最も多く、次いで導入後の効果、導入方法の具体的・技術的内容などと続いている。

選択割合は 回答数/サンプル数

質問	回答数(件)	選択割合(%)	0	20	40	60	80	100
1.クリーンエネルギー等の導入の必要性(エネルギー問題や地球温暖化問題の背景など)	28	24.1			24.1			
2.クリーンエネルギー等の設備や導入方法等に関する具体的・技術的内容	62	53.4			53.4			
3.クリーンエネルギー等の導入の際にかかる費用・利用できる補助制度	97	83.6				83.6		
4.クリーンエネルギー等の導入後の効果(費用面・環境面)	92	79.3				79.3		
5.クリーンエネルギー等を利用している事例	47	40.5			40.5			
6.その他	1	0.9	0.9					
無回答	7	6.0	6.0					
サンプル数	116							

【その他の意見】

データなし

問 9 京都市がクリーンエネルギー等を普及啓発していく上で有効だと考えられる方法

補助制度の整備が最も多く、次いで公共施設への導入、市の広報等による情報提供などとなっている。

選択割合は 回答数/サンプル数

質問	回答数(件)	選択割合(%)	0	20	40	60	80	100
1.市の広報紙等を利用した分かりやすい情報の提供	45	38.8			38.8			
2.講演会の開催やパンフレット等の作成	21	18.1		18.1				
3.学校教育中でのエネルギー・環境学習の推進	37	31.9			31.9			
4.クリーンエネルギー等の設備を実際に体験できる機会の提供	39	33.6			33.6			
5.クリーンエネルギー等の設備を導入する際の補助制度の整備	87	75.0				75.0		
6.専門家の派遣や相談窓口の整備	24	20.7		20.7				
7.学校や庁舎等公共施設へのクリーンエネルギー等の設備の導入	47	40.5			40.5			
8.京都市・市民や地域の各種団体との共同による取組の推進	27	23.3			23.3			
9.景観保全・観光も考慮した京都市らしい制度の創設	34	29.3			29.3			
10.その他	0	0.0	0.0					
無回答	3	2.6	2.6					
サンプル数	116							

【その他の意見】

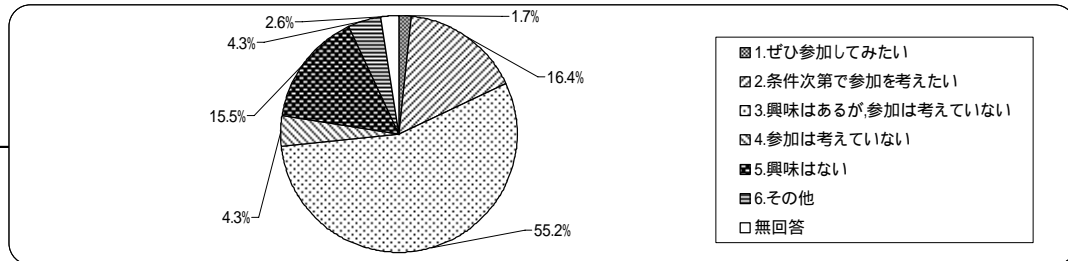
データなし

問 10-1 クリーンエネルギー市民共同発電所についての考え

興味はあるが、参加は考えていないが最も多く、次いで条件次第で参加を考えたい、興味はないなどとなっている。



業種	質問	回答数(件)	回答割合(%)	計
全体	1.ぜひ参加してみたい	2	1.7	116
	2.条件次第で参加を考えたい	19	16.4	
	3.興味はあるが参加は考えていない	64	55.2	
	4.参加は考えていない	5	4.3	
	5.興味はない	18	15.5	
	6.その他	5	4.3	
	無回答	3	2.6	



業種別は、10以上のサンプル数があるもののみ示した。

業種	質問	回答数(件)	回答割合(%)	計
4.製造業	1.ぜひ参加してみたい	1	3.2	31
	2.条件次第で参加を考えたい	5	16.1	
	3.興味はあるが参加は考えていない	19	61.3	
	4.参加は考えていない	0	0.0	
	5.興味はない	5	16.1	
	6.その他	1	3.2	
	無回答	0	0.0	
5.卸売・小売業	1.ぜひ参加してみたい	0	0.0	14
	2.条件次第で参加を考えたい	2	14.3	
	3.興味はあるが参加は考えていない	8	57.1	
	4.参加は考えていない	0	0.0	
	5.興味はない	1	7.1	
	6.その他	2	14.3	
	無回答	1	7.1	
8.運輸業	1.ぜひ参加してみたい	0	0.0	13
	2.条件次第で参加を考えたい	3	23.1	
	3.興味はあるが参加は考えていない	6	46.2	
	4.参加は考えていない	1	7.7	
	5.興味はない	3	23.1	
	6.その他	0	0.0	
	無回答	0	0.0	
11.サービス業	1.ぜひ参加してみたい	1	4.8	21
	2.条件次第で参加を考えたい	4	19.0	
	3.興味はあるが参加は考えていない	9	42.9	
	4.参加は考えていない	1	4.8	
	5.興味はない	5	23.8	
	6.その他	0	0.0	
	無回答	1	4.8	
12.その他	1.ぜひ参加してみたい	0	0.0	22
	2.条件次第で参加を考えたい	2	9.1	
	3.興味はあるが参加は考えていない	15	68.2	
	4.参加は考えていない	1	4.5	
	5.興味はない	3	13.6	
	6.その他	1	4.5	
	無回答	0	0.0	

【参加を考えていない理由】

- ・福祉事業で制約が多すぎるから
- ・採算割れ
- ・電気事業者であるため共同出資での電力販売は難しいと考えるため。

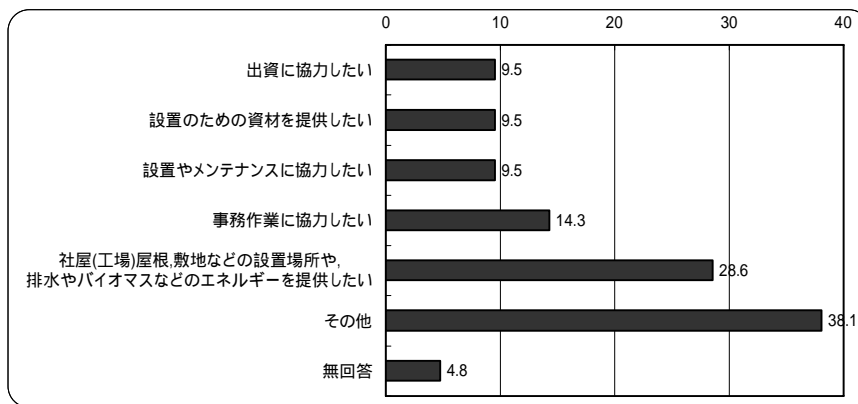
【その他の意見】

- ・詳細が分からないので判断しにくい
- ・詳細が判らないので判断出来ない
- ・市民共同発電所について、詳しく知りません。
- ・まずは、自社へのクリーンエネルギー導入を積極的に進めて参りたいと考えます。
- ・話を聞いてみたい

**問 10-2 前問で 1 及び 2 と答えた方にお聞きします。どのような参加が可能ですか。**

場所やエネルギーの提供が最も多く、次いで事務作業などとなっている。

業種	質問	回答数(件)	選択割合(%)	計
全業種	1.出資に協力したい	2	9.5	21
	2.設置のための資材を提供したい	2	9.5	
	3.設置やメンテナンスに協力したい	2	9.5	
	4.事務作業に協力したい	3	14.3	
	5.社屋(工場)屋根、敷地などの設置場所や、排水やバイオマスなどのエネルギーを提供したい	6	28.6	
	6.その他	8	38.1	
	無回答	1	4.8	



**【提供可能量】**

- ・ 屋根・敷地 10～1010 [ m<sup>2</sup> ]

**【その他の意見】**

- ・ 条件等を総合的に検討した上で考えたい。
- ・ 時期、種類により変動あり(参加形態として)
- ・ 資金状況によって検討
- ・ 具体的な仕組みが明確にならなければ、何とも言えない
- ・ 対費用効果しだい。
- ・ 参加はしたいが、その方法は現状では未定
- ・ 現在のところ、特定できない。

**問 11 木質バイオマス燃料以外の森林の木材利用についての考え**

木材利用の建築物の推進が最も多く、次いで木製の家具利用、木製の小物利用などとなっている。

質問	回答数(件)	選択割合(%)	選択割合は 回答数/サンプル数						
			0	20	40	60	80	100	
1.木材を利用した建築物を推進すべき	53	45.7			45.7				
2.内装・外装等に木製品の利用を拡大すべき	25	21.6		21.6					
3.木製の家具利用を拡大すべき	49	42.2			42.2				
4.木製品の小物の利用を拡大すべき	28	24.1		24.1					
5.利用拡大する必要はない	10	8.6	8.6						
6.その他	11	9.5	9.5						
無回答	10	8.6	8.6						
サンプル数	116								

**【内装・外装等に木製品の利用を拡大すべき その用途について】**

- ・ 屋内 壁板や手すりなど

- ・床 フローリング
- ・地下街の内壁に板貼り
- ・不燃建材
- ・内装不燃化との関係はあるが木の持つ和らぎを取入れたい。
- ・供給，需要量を調査し，可能であれば拡大すべき。

【利用拡大する必要はない，その理由】

- ・需給バランスにまかせるべき
- ・当社は消防法での危険物取扱施設が殆んどであり，可燃物の使用は禁止されている。木質バイオマス燃料についても，現在使用の都市ガスと比較して取扱いが不便である。
- ・森林保全が最上と思っているから。
- ・森林を管理できてない状態で，より悪化する。
- ・ボイラーの初期費用が高すぎる。
- ・経済的合理性がない。使用する場所がない。

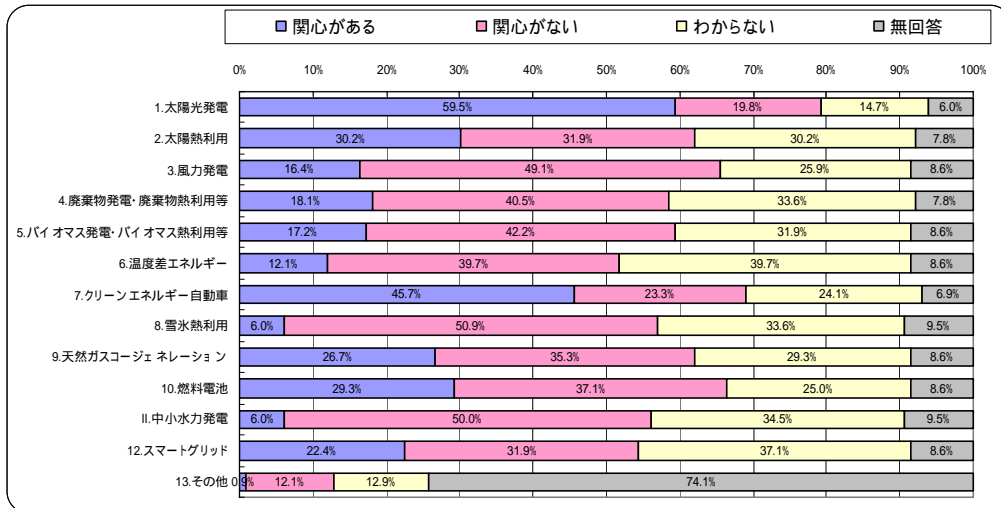
【その他の意見】

- ・LEDをもちいての工芸品に製作
- ・木材の利用 植樹のサイクルを作らないと意味がない
- ・問の意味がわからない
- ・防火の視点，耐久性の問題クリアが前提となる
- ・バイオマスをどれくらい促進するかで，需要は変化する（不足する場合もありえる）と考える。更に，どのようなビジョンをもって利用するかによって栽培する木も異なると考えるため，一概に，～すべきとは言えない。
- ・素材，材料として利用・木材を プラスチックにする ・古木材等の再生 木質素材として利用
- ・廃木材や間伐材の利用は有効と思うが，木材利用の拡大が京都市にとって有効かどうかわからない。
- ・伐採や乱開発で発生する問題と相殺すべき
- ・単純に「・・・すべき」とは言えない。採算の合わぬ事業は，長続きしない。又，森林に対する補助のたれ流し？
- ・木材を利用することが，CO2削減等にどうつながるかわからない
- ・詳細が不明な点がある。

問 12 事業として関心を持っているクリーンエネルギー等について

太陽光発電が最も多く，次いでクリーンエネルギー自動車，太陽熱利用などとなっている。

質問	合計	回答数(件)				回答割合(%)			
		関心がある	関心がない	わからない	無回答	関心がある	関心がない	わからない	無回答
1.太陽光発電	116	69	23	17	7	59.5	19.8	14.7	6.0
2.太陽熱利用	116	35	37	35	9	30.2	31.9	30.2	7.8
3.風力発電	116	19	57	30	10	16.4	49.1	25.9	8.6
4.廃棄物発電・廃棄物熱利用等	116	21	47	39	9	18.1	40.5	33.6	7.8
5.バイオマス発電・バイオマス熱利用等	116	20	49	37	10	17.2	42.2	31.9	8.6
6.温度差エネルギー	116	14	46	46	10	12.1	39.7	39.7	8.6
7.クリーンエネルギー自動車	116	53	27	28	8	45.7	23.3	24.1	6.9
8.雪氷熱利用	116	7	59	39	11	6.0	50.9	33.6	9.5
9.天然ガスコージェネレーション	116	31	41	34	10	26.7	35.3	29.3	8.6
10.燃料電池	116	34	43	29	10	29.3	37.1	25.0	8.6
11.中小水力発電	116	7	58	40	11	6.0	50.0	34.5	9.5
12.スマートグリッド	116	26	37	43	10	22.4	31.9	37.1	8.6
13.その他	116	1	14	15	86	0.9	12.1	12.9	74.1

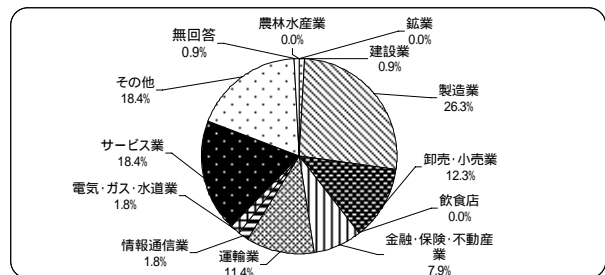


【その他の意見】

- ・ 海藻から油を抽出し燃料として活用

サンプル属性

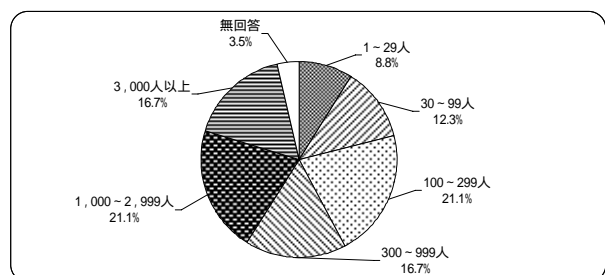
質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.農林水産業	0	0.0
2.鉱業	0	0.0
3.建設業	1	0.9
4.製造業	31	26.7
5.卸売・小売業	14	12.1
6.飲食店	0	0.0
7.金融・保険・不動産業	9	7.8
8.運輸業	13	11.2
9.情報通信業	2	1.7
10.電気・ガス・水道業	2	1.7
11.サービス業	21	18.1
12.その他	22	19.0
無回答	1	0.9
計	116	100.0



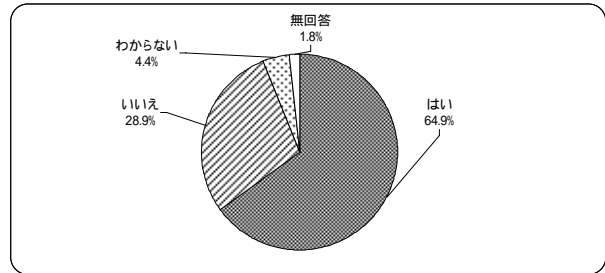
【業種-12.その他の内容】

- |          |     |        |     |
|----------|-----|--------|-----|
| ・ 医療     | 2 件 | 大学     | 4 件 |
| 医療機関     | 1 件 | 廃棄物処理業 | 1 件 |
| 医療法人     | 1 件 | 病院     | 1 件 |
| 学校       | 2 件 | 福祉事業   | 1 件 |
| 教育       | 1 件 | 複合用途   | 2 件 |
| 教育・学習支援業 | 1 件 | 旅館業    | 1 件 |
| 製造業の研究所  | 1 件 |        |     |

質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.1~29人	10	8.6
2.30~99人	14	12.1
3.100~299人	24	20.7
4.300~999人	20	17.2
5.1,000~2,999人	24	20.7
6.3,000人以上	20	17.2
無回答	4	3.4
計	116	100.0



質問	回答数(件)	回答割合(%)	
改正省エネ法に規定するエネルギー管理指定工場ですか	1.はい	75	64.7
	2.いいえ	33	28.4
	3.わからない	5	4.3
	無回答	3	2.6
	計	116	100.0



## クリーンエネルギー等の活用に関するアイデア・意見，京都市の今後のエネルギー対策についての意見・要望

業種	コメント
製造業	LEDを使用した、西陣織に使用された紋紙や友禅を図柄 新しい図例、五重の塔や和風を出した技法で“LEDあんどん”を制作しています。木機の良さで、家の中にLEDを直接、間接に使用した日本調な住宅を提案出来ればと思います。
	補助金制度が充実しており、負担金が少なければ前向きに検討したい
	補助金の制度充実と急速充電器などの整備・設置拡大してほしい
	市民や事業者にとって大きな負担になるものは取り組むべきではない タクシーを減らしてベロタクシーをふやしてほしい
卸売・小売業	クリーンエネルギー拡大のため引き続き取組むつもりです
	環境に関する規制が多いすぎる。導入済みの事業所の初回があればよい
運輸業	省エネになる商品や活動に対して、エコポイントに引き換える事はできないのか？助成金ではなく、エコポイントの方が手続が簡単で身近にある。 このアンケート調査に対する回答は、「京都市内にある事業所」ではなく、会社全体としての回答です。
サービス業	環境に関する規制が多いすぎる 行政主導でエネルギー供給会社を設立して有効利用を図る
その他	助成金が減ってきている現状ではあらたな対策などできない。お寺のライトアップは無駄な事です。 環境についての研修等の機会がほしい クリーンエネルギーを街中に取り入れていくことを推めるために、既定の法の緩和や特区的な措置が必要と考える。例えば、風力発電のプロペラの設置や屋根の太陽光パネルの設置の形態と美観や高さの規制などの調整が必要と考えられる。クリーンエネルギーの効率的な実用への道は、複数の手法を並行して組み合わせることが、有効であると思われるが、補助金等の制度がそれに対応できるように政策されたい。大学キャンパスを実験フィールドとした、実証など、実用に向けた取り組みにおいて協働できうことを協議し、実行できれば幸いである。クリーンエネルギー等の活用及びエネルギー対策を研究するための施設、設備の整備に伴う温室効果ガスの排出に対しては緩和制度を政策されたい。

### (3) 市民団体

#### 問1 主たる活動分野について

環境教育が最も多く、次いで森林保全，自然環境保護・創出・緑化，地球温暖化防止，地域環境づくりなどとなっている。

質問	回答数(件)	回答割合(%)	0	10	20	30	40	50	60
1.限定せず環境全般	5	17.9	17.9						
2.森林保全	8	28.6	28.6						
3.自然保護・創出・緑化	8	28.6	28.6						
4.大気保全	3	10.7	10.7						
5.地球温暖化防止	8	28.6	28.6						
6.水質保全	2	7.1	7.1						
7.廃棄物・リサイクル対策	6	21.4	21.4						
8.土壌環境保護	1	3.6	3.6						
9.有害化学物質削減	2	7.1	7.1						
10.野生生物保護	3	10.7	10.7						
11.地域環境づくり	8	28.6	28.6						
12.消費・生活	7	25	25						
13.エコビジネス普及	3	10.7	10.7						
14.都市交通改善	0	0	0						
15.省・新エネルギー普及	3	10.7	10.7						
16.環境教育	15	53.6	53.6						
17.その他	3	10.7	10.7						
無回答	0	0	0						
合計	28	-							

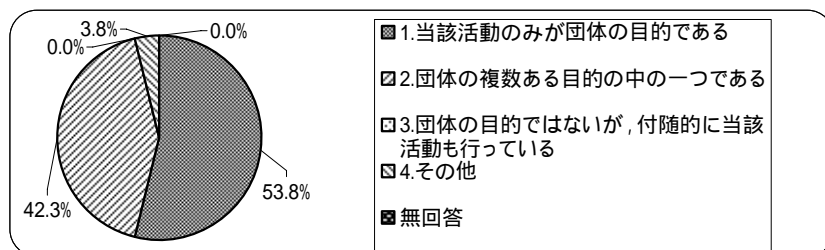
#### 【その他の意見】

- ・日本の伝統文化
- ・雨水活用
- ・里山の活性化

#### 問2 環境活動の位置づけについて

環境活動が団体の活動目的とする団体が多い。

質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.当該活動のみが団体の目的である	14	53.8
2.団体の複数ある目的の中の一つである	11	42.3
3.団体の目的ではないが、付随的に当該活動も行っている	0	0
4.その他	1	3.8
無回答	0	0
合計	26	99.9



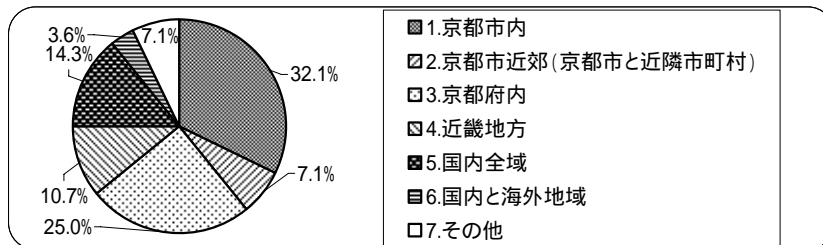
#### 【その他の意見】

- ・2と3
- ・これからは食料自給率の向上

#### 問3 環境活動の活動範囲について

京都市を含む京都府内で活動する団体が多い。

質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.京都市内	9	32.1
2.京都市近郊(京都市と近隣市町村)	2	7.1
3.京都府内	7	25
4.近畿地方	3	10.7
5.国内全域	4	14.3
6.国内と海外地域	1	3.6
7.その他	2	7.1
合計	28	100



#### 【その他の意見】

- ・滋賀県南部，京都府南部
- ・中国陝西省咸陽市

#### 問4 環境活動の活動形態について

実践活動が最も多く，次いで調査研究，情報提供・普及活動，環境教育・環境学習などとなっている。

質問	回答数(件)	回答割合(%)	0	10	20	30	40
1.実践活動(環境美化活動，植樹など)	7	29.2	[Bar chart showing 29.2%]				
2.情報提供・普及啓発(啓発冊子の作成・配布など)	4	16.7	[Bar chart showing 16.7%]				
3.環境教育・環境学習(学習会やセミナー開催など)	4	16.7	[Bar chart showing 16.7%]				
4.調査研究	5	20.8	[Bar chart showing 20.8%]				
5.政策提言	1	4.2	[Bar chart showing 4.2%]				
6.取組の支援・相談	0	0	[Bar chart showing 0%]				
7.取組の調整・仲介	0	0	[Bar chart showing 0%]				
8.取組の評価	0	0	[Bar chart showing 0%]				
9.その他	3	12.5	[Bar chart showing 12.5%]				
合計	24	100					

#### 【その他の意見】

- ・フィールドワークによる学習
- ・普及啓発
- ・1,2,3等
- ・耕作放棄地の活用
- ・市民・事業者・行政の協働のコーディネート

#### 問5 環境活動の意識・行動について

環境活動の意識・行動の働きかけの対象は市民が最も多い。

質問	回答数(件)	回答割合(%)	0	20	40	60	80
1.会員自身	1	3.8					
2.市民	17	65.4					
3.企業	1	3.8					
4.地方公共団体	0	0					
5.国(政府)	1	3.8					
6.他のNPO・NGO	0	0					
7.海外の主体	0	0					
8.すべての主体	5	19.2					
9.その他	1	3.8					
合計	26	100					

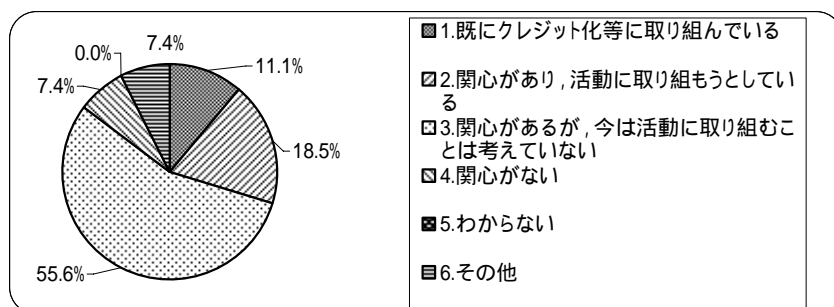
【その他の意見】

- ・食料自給率の向上

問6 環境制度への関心について

「関心はあるが、今は活動に取り組むことは考えていない」が最も多い。

質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.既にクレジット化等に取り組んでいる	3	11.1
2.関心があり、活動に取り組もうとしている	5	18.5
3.関心があるが、今は活動に取り組むことは考えていない	15	55.6
4.関心がない	2	7.4
5.わからない	0	0
6.その他	2	7.4
合計	27	100



【その他の意見】

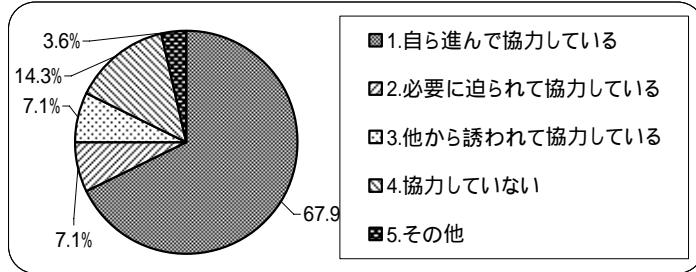
- ・関心はある
- ・温暖化，温暖化と声高に言っている団体の背後に何かがある。地球は寒冷化の方向に向かっている。
- ・京グリーン電力制度を創設し進めている。

問7 他団体との協力について

自ら進んで他団体と協力している団体が最も多い。



質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.自ら進んで協力している	19	67.9
2.必要に迫られて協力している	2	7.1
3.他から誘われて協力している	2	7.1
4.協力していない	4	14.3
5.その他	1	3.6
合計	28	100



【その他の意見】

- ・必要に応じて協力している

問8 主に協力している主体について

NPO・NGO が最も多く、次いで有識者・専門家，事業者・事業所・団体，地方公共団体などとなっている。

質問	回答数(件)	回答割合(%)	0	20	40	60	80
1.有識者・専門家	14	51.9	51.9				
2.マスメディア	10	37	37				
3.事業者・事業所・団体	14	51.9	51.9				
4.NPO・NGO	18	66.7	66.7				
5.町内会などの地縁組織	9	33.3	33.3				
6.学校	11	40.7	40.7				
7.政党・政治家	1	3.7	3.7				
8.地方公共団体	14	51.9	51.9				
9.国(政府)	4	14.8	14.8				
10.海外の主体	2	7.4	7.4				
11.その他	2	7.4	7.4				
合計	27	-					

【その他の意見】

- ・社団法人
- ・企業
- ・個人の所有の持山，地区の共有林

問9 他主体と協力する場合の内容について

実践活動の共同実施が最も多く、次いで情報交換，講師の派遣・依頼などとなっている。

質問	回答数(件)	回答割合(%)	0	20	40	60	80	100
1.実践活動を共同で実施する	21	77.8						77.8
2.助成金を支給・受給する	11	40.7			40.7			
3.講師を派遣・依頼する	15	55.6				55.6		
4.施設の設定を貸与・借用する	12	44.4			44.4			
5.共同で研究・調査を行う	12	44.4			44.4			
6.情報を交換する	17	63					63	
7.共同で提言を行う	6	22.2		22.2				
8.活動に関する助言・相談を行う	7	25.9		25.9				
9.複数の主体間の連絡調整(コーディネート)を行う	9	33.3		33.3				
10.その他	0	0	0					
合計	27	-						

【その他の意見】

- ・協力しなくてもやっていきます。

問 10 他主体と協力する場合の目的について

活動内容の充実が最も多く、次いで情報ネットワークの拡大、専門知識・技術の習得などとなっている。

質問	回答数(件)	回答割合(%)	0	20	40	60	80	100
1.活動内容の充実	24	88.9						88.9
2.情報ネットワークの拡大	16	59.3				59.3		
3.専門的な知識・技術の習得	15	55.6				55.6		
4.組織運営ノウハウの獲得	4	14.8		14.8				
5.活動資金の充実	11	40.7			40.7			
6.自団体の知名度・信頼度向上	13	48.1				48.1		
7.活動範囲・領域の拡大	14	51.9				51.9		
8.会員の意識向上	10	37				37		
9.スタッフの育成	6	22.2		22.2				
10.会員・スタッフの増加	6	22.2		22.2				
11.その他	0	0	0					
合計	27	-						

【その他の意見】

- ・なし

問 11 京都市の有効な普及啓発活動について(クリーンエネルギー等)

京都市らしい制度の創設、公共施設等への導入、補助制度の整備、各種団体との共同による取組の推進などとなっている。

質問	回答数(件)	回答割合(%)	0	20	40	60	80
1.市の広報紙等を利用した分かりやすい情報の提供	9	33.3			33.3		
2.講演会の開催やパンフレット等の作成	8	29.6			29.6		
3.学校教育の中でのエネルギー・環境学習の推進	13	48.1			48.1		
4.クリーンエネルギー等の設備を実際に体験できる機会の提供	11	40.7			40.7		
5.クリーンエネルギー等の設備を導入する際の補助制度の整備	16	59.3				59.3	
6.専門家の派遣や相談窓口の整備	12	44.4			44.4		
7.学校や庁舎等、公共施設へのクリーンエネルギー等の設備の導入	17	63				63	
8.市民・事業者や地域の各種団体との共同による取組の推進	16	59.3				59.3	
9.景観保全・観光も考慮した京都市らしい制度の創設	19	70.4					70.4
10.その他	3	11.1	11.1				
合計	27	-					

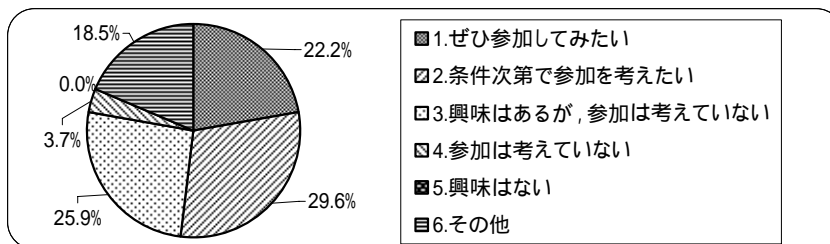
### 【その他の意見】

- ・市域のエネルギー政策を事業者，NPO と協働で立案を
- ・9に補足：水族館はいりません
- ・役人が暇なのでクリーンエネルギーとか言って役人の仕事を作っている感もある。
- ・国・エネルギー供給事業者への働きかけ
- ・ディーゼル車の乗り入れ規制や炭素税（基金）等の排出規制

## 問 12-1 市民共同発電所について

条件次第で参加を考えたいが最も多い。

質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.ぜひ参加してみたい	6	22.2
2.条件次第で参加を考えたい	8	29.6
3.興味はあるが、参加は考えていない	7	25.9
4.参加は考えていない	1	3.7
5.興味はない	0	0
6.その他	5	18.5
合計	27	100



### 【その他の意見】

- ・参加している
- ・ゆとりがあれば参加したいです
- ・すでに市内で取り組まれている京都グリーンファンドの「おひさま発電所」に協力しており，今後も参加・協力していく。
- ・発電のみならず熱供給など，対象は広く持ったうえで「市民共同」ならば良いと考えます。

## 問 12-2 市民共同発電所の参加方法について

出資への協力が最も多い。

質問	回答数(件)	回答割合(%)	0	20	40	60	80
1.出資に協力したい	5	31.3	31.3				
2.設置のための資材を提供したい	1	6.3	6.3				
3.設置やメンテナンスに協力したい	4	25	25				
4.事務作業に協力したい	3	18.8	18.8				
5.その他	9	56.3	56.3				
合計	16	-					

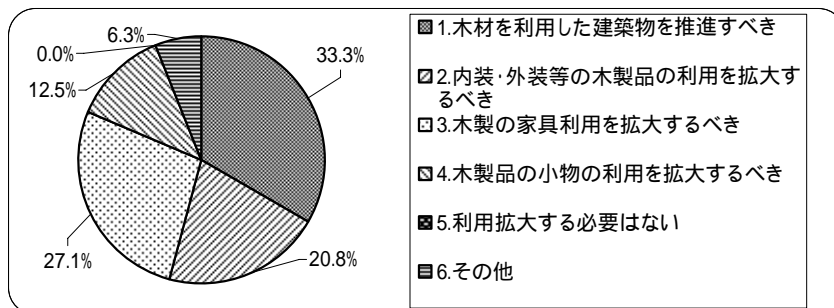
【その他の意見】

- ・1,3はすでに実施済み
- ・PR活動など
- ・内容がまだわからないので具体的な答えが出ない
- ・普及面での協力
- ・広報活動等協力できるかもしれません。
- ・事業の広報に協力したい

問 13 木材の利用方法について

木材利用建築物の推進が最も多く、次いで木製の家具利用、内装・外装等の木製品利用拡大などとなっている。

質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.木材を利用した建築物を推進すべき	16	64
2.内装・外装等の木製品の利用を拡大するべき	10	40
3.木製の家具利用を拡大するべき	13	52
4.木製品の小物の利用を拡大するべき	6	24
5.利用拡大する必要はない	0	0
6.その他	3	12
合計	25	-



【その他の意見】

- ・チップを完熟させ屋上緑化等に利用できる軽量人工土壌を生成
- ・燃料としても良い。実際に我が家は薪ストーブです（風呂は薪ボイラー）
- ・燃料として利用する仕組みが必要では
- ・木炭ストーブの活用，暖房，カマドの復活
- ・公園や公共施設の遊具，ガードレール，橋，バス停とベンチ，標識，駅舎他
- ・木材として利用する際の端材やきりくずをバイオマス燃料として利用すべき。「木材利用を促進した上でのカスケード利用」という発想でないと 木質バイオマスもうまくはいかない。
- ・用途の討論の前に地域の森林計画をどの様に行っていくのか，50年近い林業のサイクルをどの方向に誘導していくのかの討論が必要なのではないでしょうか。

問 14 市民団体の活動しやすい環境について

助成制度の整備が最も多く、次いでネットワークづくり，活動紹介，優遇制度などとなっている。

質問	回答数(件)	回答割合(%)	0	20	40	60	80	100
1.市の広報紙等を利用した市民団体の活動紹介	13	48.1						
2.活動への助成制度の整備	20	74.1						
3.施設利用に際しての優遇制度	13	48.1						
4.活動に関する相談の受付	8	29.6						
5.市民活動団体等のネットワークづくり	15	55.6						
6.市民活動に関する研修会、講座等の開催	8	29.6						
7.支援は必要ない	0	0	0					
8.その他	1	3.7						
合計	27	-						

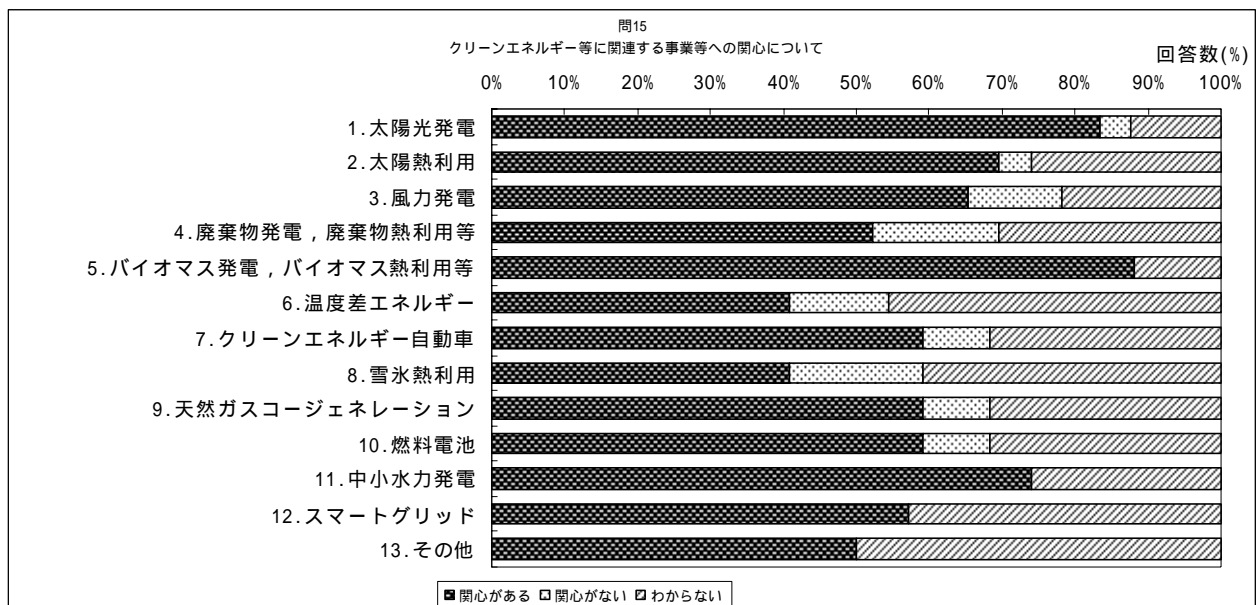
【その他の意見】

- ・ 協働事業をすすめるための仕組みづくりと人件費も含めた資金の確保
- ・ 市民団体の提案に基づく京都市と市民団体との対等な協働事業の実施
- ・ 市役所との連携事業

問 15 クリーンエネルギー等に関連する事業等への関心について

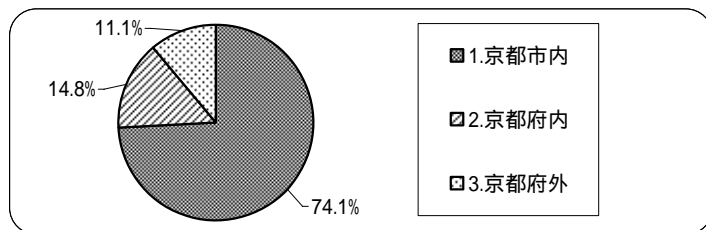
バイオマス発電・バイオマス熱利用等が最も関心が高く次いで太陽光発電，中小水力発電などとなっている。関心が低いのは，雪氷熱利用，廃棄物発電，廃棄物熱利用等である。

	回答数				割合			
	関心がある	関心がない	わからない	合計	関心がある	関心がない	わからない	合計
1.太陽光発電	20	1	3	24	83.3	4.2	12.5	100
2.太陽熱利用	16	1	6	23	69.6	4.3	26.1	100
3.風力発電	15	3	5	23	65.2	13	21.7	99.9
4.廃棄物発電，廃棄物熱利用等	12	4	7	23	52.2	17.4	30.4	100
5.バイオマス発電，バイオマス熱利用等	22	0	3	25	88	0	12	100
6.温度差エネルギー	9	3	10	22	40.9	13.6	45.5	100
7.クリーンエネルギー自動車	13	2	7	22	59.1	9.1	31.8	100
8.雪氷熱利用	9	4	9	22	40.9	18.2	40.9	100
9.天然ガスコージェネレーション	13	2	7	22	59.1	9.1	31.8	100
10.燃料電池	13	2	7	22	59.1	9.1	31.8	100
11.中小水力発電	17	0	6	23	73.9	0	26.1	100
12.スマートグリッド	12	0	9	21	57.1	0	42.9	100
13.その他	3	0	3	6	50	0	50	100



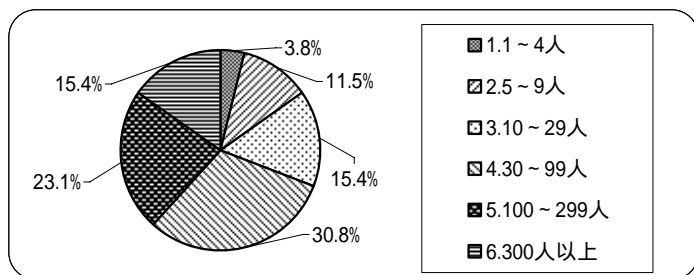
## 連絡先所在地

質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.京都市内	20	74.1
2.京都府内	4	14.8
3.京都府外	3	11.1
合計	27	-



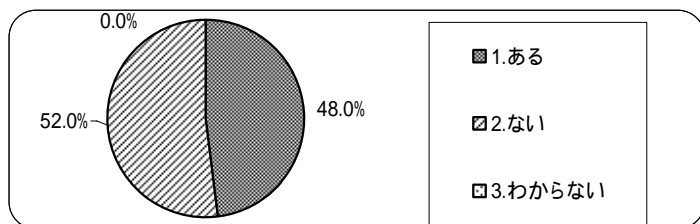
## 会員数

質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.1~4人	1	3.8
2.5~9人	3	11.1
3.10~29人	4	14.8
4.30~99人	8	29.6
5.100~299人	6	22.2
6.300人以上	4	14.8
合計	26	-



## 法人格

質問	回答数(件)	回答割合(%)
1.ある	12	48
2.ない	13	48.1
3.わからない	0	0
合計	25	-



市 民

**「京都市クリーンエネルギー活用可能性等調査」に  
関する市民アンケート調査**

京都市は、平成21年1月に「環境モダン都市」に選定され、同年3月に「京都市環境モダン都市行動計画」を策定しました。その中で、再生可能エネルギー（以下「クリーンエネルギー」といいます。）の積極的活用を掲げています。今後さらにクリーンエネルギーの導入を推進するために、市民の皆様のクリーンエネルギーに対する関心や利用意向等を把握し、今後の施策に反映させていただくため、市民アンケート調査を実施することとなりました。

本アンケート調査は、京都市内にお住まいの満18歳以上の方から1,000人を無作為に抽出し、アンケート用紙を送付・回収する方法を用いて実施するものです。

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で30名様にDO YOU KYOTOグッズを差し上げます。お忙しいことは存じますが、是非ともアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成22年11月  
京都市長 門川 大作

- ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理し、個々の調査内容については秘密を厳守いたします。また個人が特定される内容は、秘密を厳守いたします。
- 皆様からいただいた意見は、クリーンエネルギー利用拡大に必要な取組みの検討に活用したいと考えており、それ以外の目的には使用しません。どうぞ貴重なご意見をご記入ください。
- ご記入いただきました用紙は、同封の返信用封筒に入れ、

**平成22年11月30日（火）**までにご返送ください。

■調査にあたって

- ①質問へのご回答は、あなたご自身のお考えやご意見をご記入ください。
- ②ご記入後、回答もれがないかもう一度ご確認ください。
- ③お手数ですが同封の返信用封筒により、**11月30日（火）**までに、ポストへご投函くださいますようお願いいたします。

このアンケートは、京都市が中外テックノクス株式会社委託して実施しています。アンケート内容につきまして、ご不明な点がございましたら、下記問合せ先までご連絡をお願いいたします。

実施主体 (問合せ)	京都市環境政策局地球温暖化対策室 (担当) 香山, 北原 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 (TEL) 075-222-4555 (FAX) 075-211-9286
調査機関	中外テックノクス株式会社 中部支社 (担当) 平松, 小久保 〒463-0808 愛知県名古屋市中山区花畑台2丁目303番地 (TEL) 052-739-3704 (FAX) 052-739-3709

現在、京都市は地球温暖化対策について案列改正を含め、積極的に取り組んでおります。この地球温暖化対策に取り組むにあたって、エネルギー使用のあり方についても見直す必要があります。そこで、はじめにエネルギー問題についておたずねします。

問1 あなたは、エネルギー問題についてどのように思っていますか。あなたの考えに最も近いものを選択し、○印をつけてください。

1. 近い将来エネルギーが枯渇し、日常生活に影響が現れると不安を感じている
2. 海外に依存しすぎているため、将来のエネルギー供給に不安を感じている
3. 将来、エネルギーは枯渇するが、当分は無くならないはずなので不安はない
4. 地球上にエネルギー源は大量にあるので問題ない
5. 分からない
6. その他 (.....)

問2 あなたは、エネルギー問題に対応するためには、どのような対策が有効だと思いますか。あなたの考えに近いものを全て選択し、○印をつけてください。

1. 家庭、事業所、工場を含め、地域全体が徹底した省エネルギーを進める
2. 家庭から出るごみ等の廃棄物をエネルギーとして利用する
3. 太陽光、小水力、バイオマスなど石油・石炭以外のエネルギーを積極的に導入する
4. 天然ガスなど二酸化炭素の排出が少ないエネルギー源へ転換する
5. 二酸化炭素を排出しない原子力エネルギーへ転換する
6. 今後エネルギー使用量の増加が見込まれる開発途上国への、省エネルギー技術の指導など国際的な取り組みを進める
7. 特に対策の必要はない (理由:.....)
8. その他 (.....)

次に、京都市内のクリーンエネルギー等の導入についておたずねします

問3 京都市内にクリーンエネルギー等を導入する場合、どのようなクリーンエネルギー等が有効だと思いますか。あなたの考えに近いものを全て選び、○印をつけてください。

1. 太陽光発電
2. 太陽熱利用
3. 風力発電
4. 廃棄物発電、廃棄物熱利用等
5. バイオマス発電、バイオマス熱利用等
6. 温度差エネルギー
7. クリーンエネルギー自動車
8. 雪氷熱利用
9. 天然ガスコージェネレーション
10. 燃料電池
11. 中小水力発電
12. スマートグリッド
13. その他 ( )

※ クリーンエネルギー等の種類とその概要

クリーンエネルギー等の種類	概 要
1. 太陽光発電	太陽電池を使って、太陽の光で発電する。
2. 太陽熱利用	太陽の熱を集めて温水をつくり、お風呂等に利用する。
3. 風力発電	風力で風車の羽を回して発電する。
4. 廃棄物発電、 廃棄物熱利用等	ごみを燃やす際に出た熱を、発電や温水をつくるのに利用する。
5. バイオマス発電、 バイオマス熱利用等	わら、もみがら、畜産の糞尿等の農業副産物、木屑、廃材等の建築廃棄物、食品廃棄物(生ごみ等)のような生物由来の有機物を有効な燃料に加工し、エネルギー源として発電や燃料として利用する。また、それらを燃やしたときの熱を利用する。
6. 温度差エネルギー	河川水と大気等の温度差を熱エネルギーとして利用する。
7. クリーンエネルギー自動車	電気自動車・天然ガス自動車・ハイブリッド自動車等。
8. 雪氷熱利用	雪や氷の融・エネルギーを冷房や冷房に利用する。
9. 天然ガスコージェネレーション	天然ガス(都市ガス・LPガス)を燃やして電力をつくり、その時に出る熱を温水等に利用する。
10. 燃料電池	天然ガス等から得た水素と空気中の酸素を化学反応させ発電する。
11. 中小水力発電	水の流れや落差を利用して発電する。大型の水力発電に比べ、規模が小さく、小河川や農業用水路等を利用した水力発電である。
12. スマートグリッド	情報通信技術を活用して、電力供給を自動的に調整する機能を果たせる事により、電力供給を人の手を介さず最適化できるようにした電力網。

問4 京都市内にクリーンエネルギー等を導入する場合、どのような活用方法を望みますか。あなたの考えに近いものを全て選び、○印をつけてください。

1. 一般住宅への活用
2. 公共施設への活用
3. 学校への活用
4. 一般企業・事業所・農林水産業への活用
5. 自動車への活用
6. エネルギー供給事業所への活用
7. 防災時非常用電源としての活用
8. 主要な集客施設でのシンボリック活用
9. 地域の発電事業としての活用
10. 地域振興策(雇用確保等)としての活用
11. 特に利活用を進める必要はない(理由: )
12. その他 ( )

問5-1 クリーンエネルギー利用の一つの方法として、市民や事業者等が協力して設置する市民共同発電所<sup>※</sup>という仕組みが考えられます。これについて、あなたはそのどのように思いますか。あなたの考えに近いものを2つ選び、○印をつけてください。

1. ぜひ参加してみたい
2. 条件次第で参加を考えたい
3. 興味はあるが、参加は考えていない(理由: )
4. 参加は考えていない(理由: )
5. 興味はない
6. その他 ( )

※市民共同発電所とは・・・  
中小水力発電や太陽光発電の設置等に市民や事業者等が共同で出資し、発電した電力を販売する仕組みです。

問5-2 前問で1及び2と答えた方にお聞きします。どのような参加が可能ですか。あなたの考えに近いものを全て選び、○印をつけてください。

1. 出資したい
2. 自宅屋根、庭など設置場所を提供したい
3. 資材を提供したい
4. 設置やメンテナンスに協力したい
5. 事務作業に協力したい
6. その他 ( )



次に、あなたのご家庭におけるエネルギー対策についておたずねします

問6-1 あなたの家庭はクリーンエネルギーを導入していますか、また今後導入する予定はありますか、ご家族で相談していたら、あてはまるものをそれぞれ一つ選び、その番号に○印をつけてください。[○]条件が満たされれば導入したいを選び、その条件を下記の番号からそれぞれ一つ選び、記入してください。

導入状況	導入している	1	2	（ ）	3	（ ）	4	（ ）	5	（ ）	6	（ ）	7	（ ）	8	（ ）	9	（ ）	10	（ ）	11	（ ）	12	（ ）
クリーンエネルギー等																								
1. 太陽光発電																								
2. 太陽熱利用																								
3. 天然ガスコージェネレーション (例：エコウィル)																								
4. 温床型エネルギー (例：エコキュート)																								
5. クリーンエネルギー自動車																								
6. 燃料電池 (例：エネファーム)																								
7. 木質バイオマス燃料 (例：薪ストーブ、ペレットストーブ、暖房)																								
8. スマートグリッド																								
9. その他 ( )																								

どのような条件ですか、下記の番号から一つ選び( )内に記入して下さい。

1. 設置・維持に関する費用が安くねれば
2. 購入時の助成金が整備されれば
3. クリーンエネルギー等の買取制度が拡充し、設置費用を回収する期間が短くなれば
4. 効率化、コンパクト化などのシステムの技術的な改良がすすめば
5. 事業所の建て替えや既存施設の更新準備ができれば
6. クリーンエネルギー等の効果や必要性が納得できれば
7. 身近な導入例が増えれば
8. 設置・維持の費用が導入による効果に割合えれば
9. 基盤が整備されれば (都市ガスの普及、クリーンエネルギー自動車用スタンドなど)
10. 行政の支援が得られれば
11. その他 ( )

問6-2 ご自宅に太陽光発電システムを平均的規模の3.4kW(約21万円)を設置する場合は購入方法として、あなたの考えに近いものを選び、その番号に○印をつけてください。

※投資回収年数は、発電により電力会社から購入する必要がなくなった電気代2,720円/月と発電により余った電気を電力会社に売った電気代8,160円/月(11年目以降4,080円/月)により算出した、採算が取れるまでに掛かる期間です。

1. 一括購入  
初期投資費用21万円、所有者は設置者となります。(投資回収年数は約15年)
2. 融資  
初期投資費用なし、所有者は設置者となります。  
18,000円/月 支払(金利4.5%、融資期間10年間、投資回収年数は約21年)
3. リース  
融資と違い、リース期間中メンテナンスが受けられます。リース期間中の所有者はリース会社、その後設置者の所有となります。  
① 16,000円/月支払(リース期間10年間、投資回収年数は約19年)  
② 14,000円/月支払(リース期間12年間、投資回収年数は約20年)  
③ 12,000円/月支払(リース期間15年間、投資回収年数は約21年)  
④ 10,000円/月支払(リース期間17年間、投資回収年数は約20年)
4. 購入方法に関わらず導入は考えていない

問7 京都市では『くらしの匠』※1、『インターネット版環境家計簿』※2を通じて、家庭で役に立つ省エネルギー情報を提供しています。あなたのご家庭では、省エネルギー対策としてどのようなことを行っていますか、行っているものを選び、その番号に○印をつけてください。

1. 冷蔵庫を凍温にしている
2. 電灯のスイッチをこまめに切るようにしている
3. テレビのつけっぱなしをしないようにしている
4. 使っていない家電製品のコンセントは抜くようにしている
5. 家電製品の手入れ(エアコンのフィルターの掃除など)をこまめにしている
6. 冷蔵庫に食品を詰め込み過ぎないようにしている
7. ガスや水の無駄遣いに気をつけるようにしている
8. 洗濯物はまとめて洗うようにしている
9. 省エネタイプの家電製品を購入するようにしている
10. 『くらしの匠』事業の取り組みを利用している
11. 『インターネット版環境家計簿』を利用している
12. その他 ( )

※1くらしの匠とは・・・  
日常生活での省エネ・省資源、ごみ減量等の取組に精通する環境リーダーで、本事業では省エネ・ごみ減量等の学習会やワークショップの開催、省エネ、ごみ減量等に関する相談や助言、情報提供を行い、地域の特性を生かした「エコライフ・コミュニティ」の形成のためのコーディネートを行います。

※2 インターネット版環境学習教材について  
 東京都では、其都構想推進が掲げられた翌年の平成10年度から、環境学習教材を活用し、市民団体や事業者等のみなさんの御協力の下、その普及に取り組みました。  
 この度、環境学習教材の活用を更に広げるため、ネット上で各家庭の電気やガスなどの使用量を入力することで、二酸化炭素排出量の把握や市政の平均値と比較、評価ができる「インターネット版環境学習教材」を開発しました。  
 URL <http://www.doyoukyoku.co.com/>

今後、京都市でクリーンエネルギー等の利用を推進するために必要と思われることについておたずねします

問8 あなたはクリーンエネルギーや地球温暖化問題等に関する情報をどのような方法で入手していますか。あてはまるものを全て選び、その番号に○印をつけてください。

1. テレビ・ラジオから
2. 新聞・雑誌書籍から
3. 行政の広報紙・掲示板から
4. インターネットから
5. 家族や友人・知人から
6. 勤務先・取引先など仕事を通じて
7. 講演会、セミナーなどから
8. 地域活動を通じて
9. 入手したことがない
10. その他 (.....)

問9 クリーンエネルギー等に関する情報としてあなたが入手したいものを全て選び、その番号に○印をつけてください。

1. クリーンエネルギー等の導入の必要性（エネルギー問題や地球温暖化問題の背景など）
2. クリーンエネルギー等の設備に関する具体的・技術的内容
3. クリーンエネルギー等の導入の際にかかる費用、補助制度
4. クリーンエネルギー等の導入後の効果（費用面・環境面）
5. クリーンエネルギー等の分布状況や利用できる可能性
6. その他 (.....)

問10 京都市がクリーンエネルギー等を普及啓発していく上で有効だと考えられる方法を全て選び、その番号に○印をつけてください。

1. 市の広報紙等を利用した分かりやすい情報の提供
2. 講演会の開催やパンフレット等の作成
3. 学校教育の中でのエネルギー・環境学習の推進
4. クリーンエネルギー等の設備を実際に体験できる機会の提供

(実際の機器・説明パネル等の提示、クリーンエネルギー等の体験イベントの開催)

5. クリーンエネルギー等の設備を導入する際の補助制度の整備
6. 専門家の派遣や相談窓口の整備
7. 学校や庁舎等、公共施設へのクリーンエネルギー等の設備の導入
8. 市民・事業者や地域の各種団体との共同による取組の推進
9. 景観保全・観光も考慮した京都市らしい制度の創設
10. その他 (.....)

問11 どのようなクリーンエネルギー等の施設に関心がありますか。また、見学してみたいと思えますか。あてはまるものを全て選び、その番号に○印をつけてください。

1. 太陽光発電
2. 太陽熱利用
3. 風力発電
4. 廃棄物発電・廃棄物熱利用等
5. パイオマス発電・パイオマス熱利用等
6. 温度差エネルギー
7. クリーンエネルギー自動車
8. 雪氷熱利用
9. 天然ガスコージェネレーション
10. 燃料電池
11. 中小水力発電
12. スマートグリッド
13. その他 (.....)

問12 森林を二酸化炭素吸収源として有効利用するために、木質バイオマス燃料として利用すること以外に木材として利用することも考えられます。木材利用についてどのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを全て選び、○印をつけてください。

1. 木材を利用した建築物を推進すべき
2. 内装・外装等の木製品の利用を拡大すべき（用途：.....）
3. 木製の家具利用を拡大すべき
4. 木製品の小物の利用を拡大すべき
5. 利用拡大する必要はない（理由：.....）
6. その他 (.....)

※木質バイオマス燃料とは・・・  
 廃木材や間伐材などを粉砕加工した「チップ」や、さらに乾燥させ粉砕した「ペレット」など。ボイラーやストーブの燃料として加工したもの。その他、アルコール燃料や水素ガスなどに加工する研究も進められています。

次に、あなたご自身及びご家族のことについておたずねします。あてはまる番号を  
 一つ選び、その番号に○印をつけてください。

性別	1. 男性	2. 女性									
在住区	1. 北区	2. 上京区	3. 左京区	4. 中京区	5. 東山区	6. 山科区	7. 下京区	8. 南区	9. 右京区	10. 西京区	11. 伏見区
年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳以上				
職業	1. 農林水産業	2. 自営業	3. 会社員	4. 公務員	5. 学生	7. 主婦	6. パート・アルバイト	8. 無職	9. その他(.....)		
世帯人員	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人	6. 6人以上					
住まいの形態	1. 特家一戸建て(築.....年)	2. 特家集合住宅	3. 借家一戸建て	4. 借家集合住宅	5. 社宅・寮	6. その他(.....)					
年収	1. 400万円未満	2. 400万円～600万円未満	3. 600万円～800万円未満	4. 800万円～1000万円未満	5. 1000万円以上						

最後に、京都市の将来を考えた時、どのようなエネルギーの利用がなされているのが望ましいでしょうか。あなたの考える将来の京都市とエネルギー利用のあり方、理想像などを自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。下記のご送付先をご記入いただき、返信いただいた方の中から抽選で30名様にDO YOU KYOTOグッズを贈呈いたします。

なお、下記の個人情報、抽選・発送の目的のみに使用いたします。

〒

ご住所.....

ご名前.....

**「京都市クリーンエネルギー活用可能量等調査」に  
関する事業者アンケート調査**

京都市では、平成21年1月に「環境モデル都市」に選定され、同年3月に「京都市環境モデル都市行動計画」を策定しました。その中で、再生可能エネルギー（以下「クリーンエネルギー」といいます。）の徹底的活用を掲げています。今後さらにクリーンエネルギーの導入を推進するため、市内事業者の皆様へのクリーンエネルギーに対する関心や利用意向等を把握し今後の施策に反映させていくため、事業者アンケート調査を実施することとなりました。

本アンケート調査は、京都市内の全ての特定事業者と、その他の事業者から無作為に抽出した合計約200の事業者へアンケート用紙を送付・回収する方法を用いて実施するものです。

お忙しいこととは存じますが、是非ともアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成22年11月  
京都市長 門川 大作

○ ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理し、個々の調査内容については秘密を厳守いたします。また事業者が特定される内容は、秘密を厳守いたします。

○ 皆様からいただいた意見は、クリーンエネルギー利用拡大に必要な取組みの検討に活用したいと考えており、それ以外の目的には使用しません。どうぞ率直なご意見をご記入ください。

○ ご記入いただきました用紙は、回答の返信用封筒に入れ、  
**平成22年11月30日（火）**までにご返送ください。

■調査にあたって

- ①質問へのご回答は、貴事業者のお考えやご意見をご記入ください。
- ②ご記入後、回答もれがないかもう一度ご確認ください。
- ③お手数ですが同封の返信用封筒により、**11月30日（火）**までに、ポストへご投函くださいますようお願いいたします。

このアンケートは、京都市が中外テクノス株式会社にて委託して実施しています。アンケート内容につきまして、ご不明な点がございましたら、下記問合せ先までご連絡をお願いいたします。

実施主体 (問合せ)	京都市環境政策局地球温暖化対策室（担当）香山、北垣 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 (TEL) 075-222-4555 (FAX) 075-211-9286
調査機関	中外テクノス株式会社 中部支社（担当）平松、小久保 〒463-0808 愛知県名古屋守山区花咲台2丁目363番地 (TEL) 052-739-3704 (FAX) 052-739-3709

はじめに、エネルギー問題や地球温暖化問題についておたずねします

問1 貴事業所では、地球温暖化防止に関する取組を実施されていますか。あてはまるものを二つ選び、○印をつけてください。

- 1. 積極的にやっている
- 2. 少し行っている
- 3. 行っていない

問2 問1で「1. 積極的にやっている」、「2. 少し行っている」を選ばれた方にお聞きします。その内容は何かですか。あてはまるものを全て選び、○印をつけてください。

- 1. 環境に配慮した製品の購入（グリーン購入）
- 2. 電気やガソリンの使用量削減などの省エネルギーに関する取組
- 3. 廃棄物の減量・リサイクルに関する取組
- 4. 省エネルギー設備・機器の選択・導入
- 5. 太陽光発電や風力発電等のクリーンエネルギー等の導入
- 6. 断熱材の使用や屋上緑化など施設の省エネルギー化
- 7. 地球温暖化やエネルギー問題に関する社内教育
- 8. その他（.....）

問3 地球温暖化対策のための投資について、貴事業所の考えに最も近いものを二つ選び、○印をつけてください。

- 1. 経済的に見合わなくても行う
- 2. 経済的な負担がない程度に行う
- 3. 経済的、宣伝など導入によるメリットがあれば行う
- 4. 地球温暖化対策のための投資は考えていない
- 5. その他（.....）

問4 温室効果ガス排出量削減やエネルギー使用量削減に関する制度として、国内クレジット※1、J-VER※2、カーボンオフセット※3等の制度があります。これらの制度について、貴事業所はご関心がありますか。貴事業所の考えに最も近いものを一つ選び、○印をつけてください。

1. 既にクレジット化等に取り組んでいる
2. 関心があるが、活動に取り組もうとしている
3. 関心があるが、今は活動に取り組むことは考えていない
4. 関心がない
5. わからない
6. その他 (.....)

※1 国内クレジット：中小企業等が水産物等から資金や技術・ノウハウ等の提供を受け、振動（共同）で二酸化炭素排出削減に取り組む、その削減分を国内クレジットとして売買できる制度。  
 ※2 J-VER：国内における森林やグリーンエネルギー関連の事業等により実現された温室効果ガス排出削減・吸収量を、カーボンオフセットに用いるために発行されるクレジットのこと。  
 ※3 カーボンオフセット：排出された二酸化炭素などの温室効果ガスを、森林・森林保護・グリーンエネルギー事業などによって直接的、間接的に吸収しようとする考え方や活動の総称。

グリーンエネルギー等の導入についてのたずねします

問5 貴事業所ではグリーンエネルギー等\*を導入していますか。また今後導入する予定はありますか。あてはまるものをそれぞれ一つ選び、その番号に○印をつけてください。「条件が整えば導入したい」を選んだ方は、その条件を下記の番号から、それぞれ一つ選び記入してください。

導入状況	導入している		導入する予定なし		事業に入社した翌年以後は	導入の予定は
	1	2	3	4		
グリーンエネルギー等						
1. 太陽光発電	1	2	( )	( )	3	( )
2. 太陽熱利用	1	2	( )	( )	3	( )
3. 風力発電	1	2	( )	( )	3	( )
4. 廃棄物発電、廃棄物熱利用等	1	2	( )	( )	3	( )
5. バイオマス発電、バイオマス熱利用	1	2	( )	( )	3	( )
6. 温度差エネルギー	1	2	( )	( )	3	( )
7. クリーンエネルギー自動車	1	2	( )	( )	3	( )
8. 雪氷熱利用	1	2	( )	( )	3	( )
9. 天然ガスコージェネレーション	1	2	( )	( )	3	( )
10. 燃料電池	1	2	( )	( )	3	( )
11. 中小水力発電	1	2	( )	( )	3	( )
12. スマートグリッド	1	2	( )	( )	3	( )
13 その他 (.....)	1	2	( )	( )	3	( )

どのような条件ですか、下記の番号から二つ選び ( ) 内に記入して下さい。

1. 設置・維持に関する費用が安くなければ
2. 購入時の助成金が整備されれば
3. 導入費用が軽減できる制度が整備されれば (1. リース制度 2. 融資制度) (月額負担.....円程度)
4. クリーンエネルギー等の買取制度が充実し、設置費用を回収する期間が短くなれば
5. 効率化、コンパクト化などのシステムの技術的な改良がすすめば
6. 事業所の建て替えや既存施設の更新時期が来れば
7. クリーンエネルギー等の効果や必要生が納得できれば
8. 身近な導入例が増えれば
9. 設置・維持の費用が導入による効果に見合えば
10. 基盤が整備されれば (都市ガスの普及、クリーンエネルギー自動車用スタンドなど)
11. 行政の支援が得られれば
12. その他 (.....)

※クリーンエネルギー等の種類とその概要

クリーンエネルギー等の種類	概要
1. 太陽光発電	太陽電池を使って、太陽の光で発電する。
2. 太陽熱利用	太陽の熱を集めて温水をつくり、給湯等に利用する。
3. 風力発電	風力で風車の羽を回して発電する。
4. 廃棄物発電等	ごみを燃やす際に出た熱を、発電や温水をつくるのに利用する。 わら、もみがら、堅実の糞尿等の堆肥副産物、木屑、廃材等の燃焼副産物、食品廃棄物（生ごみ等）のような生物由来の有機物を有効な燃料に加工し、エネルギー源として発電や燃料として利用する。また、それらを燃やしたときの熱を利用する。
5. バイオマス発電、バイオマス熱利用等	河川水と水素等の温度差を熱エネルギーとして利用する。
6. 温度差エネルギー	電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車等
7. クリーンエネルギー自動車	雪や氷の熱、エネルギーを冷媒や冷房に利用する。
8. 雪氷熱利用	天然ガス（都市ガス・LPガス）を燃やして電気をつくり、その熱に出る熱を温水等に利用する。
9. 天然ガスコージェネレーション	天然ガス等から得た水素と空気中の酸素を化学反応させ発電する。
10. 燃料電池	水の蒸れや副産物を利用して発電する。大型の水力発電に付し、規模が小さく、小河川や産業用水調整池を利用して、電力開始を自動的に行なうことができる。
11. 中小水力発電	情報通信技術を活用して、電力開始を自動的に行なうことができる。
12. スマートグリッド	供給を人の手を介さず最適化できるようにした電力網。

問6 前問でも「導入している」「導入を予定している」とお答えになった方にお伺いします。導入する理由は何ですか。あてはまるものを全て選び、その番号に○印をつけてください。

1. 地球温暖化防止（環境保全）のため
2. エネルギーの有効利用のため
3. 経済的にメリットがあるため
4. 事業所のイメージアップのため
5. 発電事業を行うため
6. 補助制度があるため
7. 特に理由はない
8. その他（.....）

問7 事業者がクリーンエネルギー等を導入するのに有効な行政の支援は、どのようなものと考えられますか。あてはまるものを全て選び、○印をつけてください。

1. クリーンエネルギー等に関する情報を提供する
2. クリーンエネルギー等の設備に関する助成金などの補助制度を充実する
3. 事業者に向けた導入事例の見学会を開催する
4. 事業者に向けたクリーンエネルギー等に関するシンポジウムを開催する
5. 事業者と第3セクターを設立してクリーンエネルギー等で発電事業を行う
6. 事業者と市民が協力してクリーンエネルギー等で発電事業を行う仕組みをつくる
7. 地域振興につながるクリーンエネルギー等に関する相談窓口を設ける
8. クリーンエネルギー等に関する必要はない（理由：.....）
9. 特に対策を講じる必要はない（理由：.....）
10. その他（.....）

問8 クリーンエネルギー等に関する情報として貴事業者が入手したいものを全て選び、その番号に○印をつけてください。

1. クリーンエネルギー等の導入の必要性（エネルギー問題や地球温暖化問題の背景など）
2. クリーンエネルギー等の設備や導入方法等に関する具体的・技術的内容
3. クリーンエネルギー等の導入の際にかかる費用、利用できる補助制度
4. クリーンエネルギー等の導入後の効果（費用面・環境面）
5. クリーンエネルギー等を利用している事例
6. その他（.....）

今後、京都市でクリーンエネルギー等の利用を推進するために必要と思われることについておたずねします

問9 京都市がクリーンエネルギー等を書及啓発していく上で有効だと考えられる方法を全て選び、その番号に○印をつけてください。

1. 市の広報紙等を利用し、分かりやすい情報の提供
2. 講演会の開催やパンフレット等の作成
3. 学校教育の中でエネルギー・環境学習の推進
4. クリーンエネルギー等の設備を実際に体験できる機会の提供  
(実際の機器・説明パネル等の展示、クリーンエネルギー等の体験イベントの開催)
5. クリーンエネルギー等の設備を導入する際の補助制度の整備
6. 専門家の派遣や相談窓口の整備
7. 学校や庁舎等、公共施設へのクリーンエネルギー等の設備の導入
8. 京都市・市民や地域の各種団体との共同による取組の推進
9. 景観保全・観光も考慮した京都市らしい制度の創設
10. その他 ( )

問10-1 クリーンエネルギー利用の一つの方法として、市民や事業者が協力して設置する市民共同発電所という仕組みが考えられます。これに対して貴事業所はどのように思えますか。貴事業所の考えに近いものを選び、○印をつけてください。

1. ぜひ参加してみたい
2. 条件次第で参加を考えたい
3. 興味はあるが、参加は考えていない
4. 参加は考えていない(理由: )
5. 興味はない
6. その他 ( )

※市民共同発電所とは、...  
小水力発電や太陽光発電の設置等に市民や事業者が共同で出資し、発電した電力を販売する仕組みです。

問10-2 前問で1及び2と答えられた方にお聞きします。どのような参加が可能ですか。貴事業所の考えに近いものを全て選び、○印をつけてください。

1. 出資に協力したい
  2. 設置のための資材を提供したい
  3. 設置やメンテナンスに協力したい
  4. 事務作業に協力したい
  5. 社屋(工場)屋根、敷地などの設置場所や、排水やバイオマスなどのエネルギーを提供したい
- 【提供可能量】 ※よろしければ場所をお書きください。
- ＜記入例＞ ①屋根・敷地 約  $5.0 \text{ m}^2$  (場所: 市役所庁舎)
- ①屋根・敷地 約  $\text{m}^2$  (場所: )
- ②排水 約  $\text{m}^3/\text{秒}$  (場所: )
- ③バイオマス 約  $\text{t}/\text{年}$  (場所: )
- ④その他 ..... 約 (単位: ) (場所: )
6. その他 ( )

問11 森林を二酸化炭素吸収源として有効利用するために、木質バイオマス燃料として利用すること以外に木料として利用することも考えられます。木料利用についてどのようにお考えですか。あなたの考えに近いものを全て選び、○印をつけてください。

1. 木材を利用した建築物を推進すべき
2. 内装・外装等に木製品の利用を拡大すべき(用途: )
3. 木製の家具利用を拡大すべき
4. 木製品の小物の利用を拡大すべき
5. 利用拡大する必要はない(理由: )
6. その他 ( )

※木質バイオマス燃料とは、...  
腐木材や間伐材などを粉砕加工した「チップ」や、さらに乾燥させ粒状に固めた「ペレット」など、ボイラーやストーブの燃料として加工したもの、その他、アルコール燃料や水素ガスなどに加工する研究も進められています。

問 12 貴事業所はクリーンエネルギー等に関連する事業への参入にご関心がありますか。貴事業所が事業として関心を持っていらっしゃるクリーンエネルギー等について、あてはまるものをそれぞれ一つ選び、その番号に○印をつけてください。

	関心度	関心がある	関心がな	わからな
クリーンエネルギー等				
1. 太陽光発電		1	2	3
2. 太陽熱利用		1	2	3
3. 風力発電		1	2	3
4. 廃棄物発電, 廃棄物熱利用等		1	2	3
5. バイオマス発電, バイオマス熱利用等		1	2	3
6. 温度差エネルギー		1	2	3
7. クリーンエネルギー自動車		1	2	3
8. 雪氷熱利用		1	2	3
9. 天然ガスコージェネレーション		1	2	3
10. 燃料電池		1	2	3
11. 中小水力発電		1	2	3
12. スマートグリッド		1	2	3
13. その他 (.....)		1	2	3

最後に、クリーンエネルギー等の活用に関するアイデアやご意見がありましたらご自由にお書きください。また、京都市の今後のエネルギー対策について、行政に対するご意見・ご要望もありましたらお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご回答頂きました貴事業所についておたずねします。あてはまる番号を一つ選び、その番号に○印をつけてください。

業 種	1. 農林水産業 2. 鉱業 3. 建設業 4. 製造業 5. 卸売・小売業 6. 飲食店 7. 金融・保険・不動産業 8. 運輸業 9. 情報通信業 10. 電気・ガス・水道業 11. サービス業 12. その他 (.....)
従業員数	1. 1~29人 2. 30~99人 3. 100~299人 4. 300~999人 5. 1,000~2,999人 6. 3000人以上
改正省エネ法に規定するエネルギー管理指定工場ですか (年間に原油換算で1,500kl以上のエネルギーを消費)	1. はい 2. いいえ 3. わからない
差し支えなければお書きください	団体名: _____ 連絡先: _____



「京都市クリーンエネルギー活用可能量等調査」に  
関する市民団体アンケート調査

京都市では、平成21年1月に「調査モデル都市」に選定され、同年3月に「京都市環境ゼロ  
都市行動計画」を策定しました。その中で、再生可能エネルギー（以下「クリーンエネルギー」  
といいます。）の徹底的活用を掲げています。今後さらにクリーンエネルギーの導入を推進する  
ためには、市民団体のご協力が不可欠です。そこで皆様のクリーンエネルギーに対する関心や活  
動の意向等を把握し今後の施策に反映させていくため、市民団体アンケート調査を実施すること  
となりました。

本アンケート調査は、京都市市長活動総合センターに登録されている団体の中から環境関連の  
活動をされている50団体を無作為に抽出し、アンケート用紙を送付・回収する方法を用いて実  
施するものです。

お忙しいこととは存じますが、是非ともアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げ  
ます。

平成22年11月  
京都市長 門川 大作

- ご回答いただいた内容は、全て機密的に処理し、個々の調査内容については秘密を厳守いた  
します。また個人が特定される内容は、秘密を厳守いたします。
- 皆様からいただいた意見は、クリーンエネルギー利用拡大に必要な取組みの検討に活用した  
いと考えており、それ以外の目的には使用しません。どうぞ率直なご意見をご記入ください。
- ご記入いただきました用紙は、回答の返信用封筒に入れ、

平成22年11月30日（火）までにご返送ください。

■調査にあたって

- ①質問へのご回答は、あなたご自身のお考えやご意見をご記入ください。
- ②ご記入後、回答もれがないかももう一度ご確認ください。
- ③お手数ですが同封の返信用封筒により、11月30日（火）までに、ポストへご投函  
くださいますようお願いいたします。

このアンケートは、京都市が中外テクノス株式会社へ委託して実施しています。  
アンケート内容につきまして、ご不明な点がございましたら、下記問合せ先までご連絡  
お願いいたします。

実施主体 (問合せ)	京都市環境政策局地球温暖化対策室 (担当) 香山, 北垣 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 (TEL) 075-222-4555 (FAX) 075-211-9286
調査機関	中外テクノス株式会社 中部支社 (担当) 平松, 小久保 〒463-0808 愛知県名古屋市中山区花咲台2丁目303番地 (TEL) 052-739-3704 (FAX) 052-739-3709

はじめに、貴団体の活動についておたずねします

図1 貴団体の環境に関する主たる活動分野は何ですか。あてはまるものを全て選び、○印をつけ  
てください。

- 1. 陸上せず環境全般
- 2. 森林保全
- 3. 自然保護、創出・緑化
- 4. 大気保全
- 5. 地球温暖化防止
- 6. 水質保全
- 7. 廃棄物・リサイクル対策
- 8. 土壤環境保護
- 9. 有害化学物質削減
- 10. 野生生物保護
- 11. 地域環境づくり
- 12. 消費・生活
- 13. エコビジネス普及
- 14. 都市交通改善
- 15. 省・新エネルギー普及
- 16. 環境教育
- 17. その他 (.....)

図2 貴団体の活動において、環境活動はどのような位置づけとなっていますか。貴団体の活動に  
最も近いものを二つ選び、○印をつけてください。

- 1. 当該活動のみが団体の目的である
- 2. 団体の種数ある目的の中の一つである
- 3. 団体の目的ではないが、付随的に当該活動も行っている
- 4. その他 (.....)

図3 貴団体の環境活動に関する主たる活動範囲はどこですか。貴団体の活動に最も近いものを二  
つ選び、○印をつけてください。

- 1. 京都市内
- 2. 京都市近郊 (京都市と近隣市町村)
- 3. 京都府内
- 4. 近畿地方
- 5. 国内全域
- 6. 国内と海外地域
- 7. その他 (.....)

問4 貴団体の環境活動に関する主たる活動形態（実施手続）は何ですか、貴団体の活動に最も近いものを一つ選び、○印をつけてください。

1. 実践活動（環境美化活動、植樹など）
2. 情報提供・普及啓発（啓発冊子の作成・配布など）
3. 環境教育・環境学習（学習会やセミナー開催など）
4. 調査研究
5. 政策提言
6. 取組の支援・相談
7. 取組の調整・仲介
8. 取組の評価
9. その他（.....）

問5 貴団体の環境活動は、主にごの主体の意欲・行動を促すためのものですか、貴団体の考えに最も近いものを一つ選び、○印をつけてください。

1. 会員自身
2. 市民
3. 企業
4. 地方公共団体
5. 国（政府）
6. 他のNPO・NGO
7. 海外の主体
8. すべての主体
9. その他（.....）

問6 温室効果ガス排出削減やエネルギー使用削減に関する制度として、国内クレジット<sup>※1</sup>、J-VET<sup>※2</sup>、カーボンオフセット<sup>※3</sup>等の制度があります。これらの制度について、貴団体はご関心がありますか、貴団体の考えに最も近いものを一つ選び、○印をつけてください。

1. 既にクレジット等に取り組んでいる
2. 関心があり、活動に取り組もうとしている
3. 関心があるが、今は活動に取り組むことは考えていない
4. 関心が無い
5. わからない
6. その他（.....）

※1 国内クレジット：中小企業等が本企業等から資金や技術・ノウハウ等の提供を受け、協働（共同）で二酸化炭素排出削減に取り組む、その削減分を国内クレジットとして売買できる制度。  
 ※2 J-VET：国内における植林やグリーンエネルギー関連の事業等により実現された温室効果ガス排出削減・吸収量を、カーボンオフセットに用いるために実行されるクレジットのこと。  
 ※3 カーボンオフセット：排出された二酸化炭素などの温室効果ガスを、植林・森林保護・クリーンエネルギー事業などによって直接的・間接的に吸収しようとする考え方の活動の総称。

環境活動に関する他主体との協力の状況についておたずねします

問7 貴団体は現在、環境活動に関して他団体と協力していますか、貴団体の活動に最も近いものを一つ選び、○印をつけてください。

1. 自ら進んで協力している
2. 必要に迫られて協力している
3. 他から誘われて協力している
4. 協力していない
5. その他（.....）

問8 貴団体が環境活動に関して主に協力している（または協力を得ている）主体は何ですか、あてはまるものを全て選び、その番号に○印をつけてください。

1. 有識者・専門家
2. マスメディア
3. 事業者・事業所・団体
4. NPO・NGO
5. 町内会などの地域組織
6. 学校
7. 政党・政治家
8. 地方公共団体
9. 国（政府）
10. 海外の主体
11. その他（.....）

問9 貴団体が環境活動に関して他主体と協力する場合の主な内容は何か、あてはまるものを全て選び、その番号に○印をつけてください。

1. 実践活動を共同で実施する
2. 助成金を支給・受給する
3. 講師を派遣・依頼する
4. 施設の設備を貸与・借用する
5. 共同で研究・調査を行う
6. 情報を交換する
7. 共同で発言を行う
8. 活動に関する助言・相談を行う
9. 複数の主体間の連絡調整（コーディネート）を行う
10. その他（.....）

問10 貴団体が環境活動に関して他主体と協力する場合の主な目的は何ですか。あてはまるものを全て選び、その番号に○印をつけてください。

1. 活動内容の充実
2. 情報ネットワークの拡大
3. 専門的な知識・技術の習得
4. 組織運営ノウハウの獲得
5. 活動資金の充実
6. 自団体の知名度・信頼度向上
7. 活動範囲・領域の拡大
8. 会員の意識向上
9. スタッフの育成
10. 会員・スタッフの増加
11. その他 (.....)

今後、京都市でグリーンエネルギー等の利用を推進するために必要と思われることについておたずねします ※グリーンエネルギーについては、P7をご覧ください。

問11 京都市がグリーンエネルギー等を普及啓発していく上で有効だと考えられる方法を全て選び、その番号に○印をつけてください。

1. 市の広報紙等を利用した分かりやすい情報の提供
2. 講演会の開催やパンフレット等の作成
3. 学校教育の中でエネルギー・環境学習の推進
4. グリーンエネルギー等の設備を実際に体験できる機会の提供  
(郵送の機器・説明パネル等の展示、グリーンエネルギー等の体験イベントの開催)
5. グリーンエネルギー等の設備を導入する際の補助制度の整備
6. 専門家の派遣や相談窓口の整備
7. 学校や庁舎等、公共施設へのグリーンエネルギー等の設備の導入
8. 市民・事業者や地域の各種団体との共同による取組の推進
9. 景観保全・観光も考慮した京都市らしい制度の創設
10. その他 (.....)

問12-1-1 グリーンエネルギー利用の一つの方法として、市民や事業者等が協力して設置する市民共同発電所という仕組みが考えられます。これに対して貴団体はどのように思われますか。貴団体の考えに近いものを一つ選び、○印をつけてください。

1. ぜひ参加してみたい
2. 条件次第で参加を考えた
3. 興味はあるが、参加は考えていない
4. 参加は考えていない (理由: .....
5. 興味はない
6. その他 (.....)

※市民共同発電所とは・・・  
小水力発電や太陽光発電の設置等に市民や事業者等が共同で投資し、発電した電力を販売する仕組みです。

問12-2-2 前問で1及び2と答えられた方にお聞きします。どのような参加が可能ですか。貴団体の考えに近いものを全て選び、○印をつけてください。

1. 出資に協力したい
2. 設置のための資材を提供したい
3. 設置やメンテナンスに協力したい
4. 事務作業に協力したい
5. その他 (.....)

問13 森林を二酸化炭素吸収源として有効利用するために、木質バイオマス燃料として利用すること以外に木材として利用することも考えられます。木材利用についてどのようにお考えですか。貴団体の考えに近いものを全て選び、○印をつけてください。

1. 木材を利用した建築物を推進すべき
2. 内装・外装等の木製品の利用を拡大すべき (用途: .....
3. 木製の家具利用を拡大すべき
4. 木製品の小物の利用を拡大すべき
5. 利用拡大する必要はない (理由: .....
6. その他 (.....)

※木質バイオマス燃料とは・・・  
廃木材や間伐材などを粉砕加工した「チップ」や、さらに乾燥させ粒状に固めた「ペレット」など、ボイラーやストーブの燃料として加工したもの、その他、アルコール燃料や水素ガスなどに加工する研究も進められています。

問14 京都市がグリーンエネルギー等の導入を進めるにあたり、市民団体との協力が欠かせません。市民団体の活動しやすい環境を作る上で有効だと考えられる支援について、どのようにお考えですか。貴団体の考えに近いものを全て選び、○印をつけてください。

1. 市の広報紙等を利用した市民団体の活動紹介
2. 活動への助成制度の整備
3. 施設利用に際しての優遇制度
4. 活動に関する相談の受付
5. 市民活動団体等のネットワークづくり
6. 市民活動に関する研修会、講座等の開催
7. 支援は必要ない (理由: .....
8. その他 (.....)

問 15 貴団体はクリーンエネルギー等\*に関心する事業にご関心がありますか。貴団体が活動として関心を持っていないクリーンエネルギー等について、あてはまるものをそれぞれ一つ選び、その番号に○印をつけてください。

関心度	関心がある	関心がな	わ
クリーンエネルギー等			わ
1. 太陽光発電	1	2	か
2. 太陽熱利用	1	2	ら
3. 風力発電	1	2	な
4. 廃棄物発電、廃棄物熱利用等	1	2	い
5. バイオマス発電、バイオマス熱利用等	1	2	
6. 温度差エネルギー	1	2	
7. クリーンエネルギー自動車	1	2	
8. 雪氷熱利用	1	2	
9. 天然ガスコージェネレーション	1	2	
10. 燃料電池	1	2	
11. 中小水力発電	1	2	
12. スマートグリッド	1	2	
13. その他 (.....)	1	2	

※クリーンエネルギー等の種類とその概要

クリーンエネルギー等の種類	概 要
1. 太陽光発電	太陽電池を使って、太陽の光で発電する。
2. 太陽熱利用	太陽の熱を集めて温水をつくり、給湯等に利用する。
3. 風力発電	風力で風車の羽を回して発電する。
4. 廃棄物発電等	ごみを燃やす際に出た熱を、発電や温水をつくるのに利用する。
5. バイオマス発電、バイオマス熱利用等	わら、もみがら、家畜の糞などの農産物副産物、木屑、腐材等の燃焼残渣物、食品廃棄物（生ごみ等）のような生物由来の有機物を有効な燃料に加工し、エネルギー源として発電や燃料として利用する。また、それらを燃やしたときの熱を利用する。
6. 温度差エネルギー	河川水と大気等の温度差を熱エネルギーとして利用する。
7. クリーンエネルギー自動車	電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車等。
8. 雪氷熱利用	雪や氷の熱、エネルギーを冷媒や冷房に利用する。
9. 天然ガスコージェネレーション	天然ガス（都市ガス・LPガス）を燃やして電気をつくり、その際に出る熱を温水等に利用する。
10. 燃料電池	天然ガス等から得た水素と空気中の酸素を化学反応させ発電する。
11. 中小水力発電	水の流れや落差を利用して発電する。大型の水力発電に対し、規模が小さく、小河川や農業用水路等を利用して水力発電した水力発電である。
12. スマートグリッド	情報通信技術を活用して、電力供給を自動的に調整する機能を持たせる事により、電力供給を人の手にかかず最適化できるようにした電力網。

ご回答頂きました貴団体についておたずねします。あてはまる番号を一つ選び、その番号に○印をつけてください。

連絡先所在地	1. 京都市内 3. 京都市外（京都市内）
会員数	1. 1～4人 2. 5～9人 3. 10～29人 4. 30～99人 5. 100～299人 6. 300人以上
法人格	1. ある 2. ない 3. わからない
差し支えなければお書きください	団体名： 連絡先：

最後に、クリーンエネルギー等の活用に関するアイデアやご意見がありましたらご自由にお書きください。また、京都市の今後のエネルギー対策について、行政に対するご意見・ご要望がありましたらお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

2. バイオマス賦存量利用可能量計算方法

【バイオマス賦存量・利用可能量の算定方法(1/3)】

利用方法		賦存量	利用可能量
木質系	林地残材	<p>都道府県別林地残材(主伐・利用間伐)賦存量(t/年)=  <math>(\text{素材需要量}(\text{m}^3/\text{年}) \div \text{利用率}(\%)) \times \text{林地残材率}(\%) \times \text{木材比重}</math></p> <p>市町村別林地残材(主伐・利用間伐)賦存量(t/年)=  <math>\text{都道府県別林地残材賦存量}(\text{t/年}) \times (\text{当該市町村別人工林採面積}(\text{m}^2) \div \text{当該都道府県別人工林面積}(\text{m}^2))</math></p>	<p>間伐材積(万 m<sup>3</sup>)=  <math>\text{利用された間伐材積} \div 46\%(\text{利用間伐材率})</math></p> <p>未利用間伐材積(m<sup>3</sup>)=  <math>\text{間伐材積}(\text{m}^3) \times 54\%(\text{未利用間伐材率})</math></p> <p>未利用間伐立木伐採材積(m<sup>3</sup>)=  <math>\text{未利用間伐材積}(\text{丸太}) \div 0.8559(\text{針葉樹の利用率})</math></p> <p>単位変換(m<sup>3</sup>) (t) =  <math>\text{未利用間伐立木伐採材積}(\text{m}^3) \times 0.45(\text{針葉樹の気乾比重平均値})</math></p> <p>都道府県別未利用間伐立木伐採材積(t)=  <math>\text{未利用間伐立木伐採材積}(\text{t}) \times (\text{都道府県別間伐材伐採面積}(\text{m}^2) \div \text{全国間伐材伐採面積}(\text{m}^2))</math></p> <p>市町村別未利用間伐立木伐採材積(t)=  <math>\text{都道府県別未利用間伐立木伐採材積}(\text{t}) \times (\text{市町村別人工林採面積}(\text{m}^2) \div \text{都道府県別人工林面積}(\text{m}^2))</math></p>
		<p>市町村別林地残材(t/年) =  <math>\text{市町村別林地残材}(\text{主伐・利用間伐})\text{賦存量}(\text{t/年}) + \text{市町村別未利用間伐立木伐採材積}(\text{t})</math></p>	<p>林地残材利用可能量(t/年)=  <math>\text{林地残材賦存量}(\text{t/年}) \times \{(\text{林道延長}(\text{m}) \times 50(\text{m})) \div \text{人工林の面積}(\text{m}^2)\}</math>                      林道延長は林野庁(2005)森林・林業統計要覧より引用</p>
	製材所廃材	<p>都道府県別製材所廃材賦存量(m<sup>3</sup>/年) =  <math>\text{素材消費量}(\text{m}^3/\text{年}) \times \text{木質残廃材の発生率}(\%)</math></p> <p>都道府県別製材所廃材賦存量(t/年) =  <math>\text{製材所廃材賦存量}(\text{m}^3/\text{年}) \times \text{容積比重}</math></p> <p>市町村別製材所廃材賦存量(t/年) =  <math>\text{都道府県別製材所廃材賦存量}(\text{t/年}) \times (\text{市町村別産業中分類木材・木製品製造業製造品出荷額等} \div \text{都道府県別産業中分類木材・木製品製造業製造品出荷額等})</math></p>	<p>都道府県別製材所廃材賦存量(m<sup>3</sup>/年) =  <math>\text{素材消費量}(\text{m}^3/\text{年}) \times \text{木質残廃材の発生率}(\%)</math></p> <p>都道府県別製材所廃材賦存量(t/年) =  <math>\text{製材所廃材賦存量}(\text{m}^3/\text{年}) \times \text{容積比重}</math></p> <p>製材所廃材利用可能量(t/年) =  <math>\text{各廃材利用可能量の総和}(\text{t/年})</math></p> <p>各(樹皮・背板・端材等)廃材利用可能量(t/年) =  <math>(\text{樹皮・背板・端材等})\text{残廃材量}(\text{t/年}) \times \text{木質残廃材の利用・処理方法別数量割合}(\text{焼・棄却}(\%)+\text{その他}(\%))</math></p> <p>市町村別製材所廃材賦存量(t/年) =  <math>\text{都道府県別製材所廃材賦存量}(\text{t/年}) \times (\text{市町村別産業中分類木材・木製品製造業製造品出荷額等} \div \text{都道府県別産業中分類木材・木製品製造業製造品出荷額等})</math></p>
公園剪定枝	<p>市町村別公園剪定枝賦存量(t/年) =  <math>\text{市町村別都市公園面積}(\text{ha}) \times \text{発生原単位}(\text{t/ha})</math>                      発生原単位 = 1.71(t/ha)</p>	<p>公園剪定枝利用可能量(t/年) =  <math>\text{賦存量}(\text{t}) \times \text{利用可能率}(\%)</math>                      利用可能率：71.3%</p>	

【バイオマス賦存量・利用可能量の算定方法(2/3)】

利用方法		賦存量	利用可能量
木質系	建築廃材	最終処分率の算出 $G = Ht \div It$ G : 最終処分率 Ht : 建築発生木材(最終処分量) It : 建築発生木材(合計) 市町村別利用可能量の算出 $Jt = Bt \times G$ Jt : 市町村別利用可能量(t/年) Bt : 市町村別建築廃材賦存量(t/年)	算出式 最終処分率の算出 $G = Ht \div It$ G : 最終処分率 Ht : 建築発生木材(最終処分量) It : 建築発生木材(合計) 市町村別利用可能量の算出 $Jt = Bt \times G$ Jt : 市町村別利用可能量(t/年) Bt : 市町村別建築廃材賦存量(t/年)
畜産系	牛汚泥	都道府県別乳・肉用牛汚泥賦存量(t/年) = 都道府県別畜種別頭数 × 排泄物原単位(kg/頭/日) × 365(日) ÷ 1000  市町村別乳・肉用牛汚泥賦存量(t/年) = 都道府県別乳・肉用牛汚泥賦存量(t/年) × (市町村別飼育頭数 ÷ 府飼育頭数)	賦存量(t/年) × 利用可能率(9%)
	豚汚泥	飼育頭数における秘密保護上統計数値 X の推計  $X1 = C - D$ X1 : 機密保護上数値を公表していない市町村別飼育頭数の合計値 C : 都道府県飼育頭数 D : 数値を公表している市町村別飼育頭数の合計値  $X = X1 \times E$ X : 市町村別飼育頭数 E : 市町村別飼育戸数	養豚汚泥利用可能量(t/年) $rBt = Bt \times 0.01$ rBt : 養豚汚泥利用可能量(t/年) Bt : 市町村別養豚汚泥賦存量
	採卵鶏・ブロイラー汚泥	市町村別採卵鶏汚泥賦存量の算出方法 $St = Sa \times 0.136(kg/羽/日) \times 365(日) / 1000(kg \rightarrow t \text{へ変換})$ St : 市町村別採卵鶏汚泥賦存量(t/年) Sa : 当該採卵鶏成鶏市町村別飼養羽数 市町村別ブロイラー汚泥賦存量の算出方法 $Bt = Br \times 0.13(kg/羽/日) \times 365(日) / 1000(kg \rightarrow t \text{へ変換})$ Bt : 市町村別ブロイラー汚泥賦存量(t/年) Br : 当該ブロイラー市町村別飼養羽数	市町村別採卵鶏汚泥利用可能量の算出方法 $rSt = St \times 0.5$ rSt : 市町村別採卵鶏汚泥利用可能量(t/年) St : 市町村別採卵鶏汚泥賦存量(t/年) 市町村別ブロイラー汚泥利用可能量の算出方法 $rBt = Bt \times 0.5$ rBt : 市町村別ブロイラー汚泥利用可能量(t/年) Bt : 市町村別ブロイラー汚泥賦存量(t/年)

【バイオマス賦存量・利用可能量の算定方法 ( 3/3 )】

利用方法		賦存量	利用可能量
廃棄物 (食品系)	生活系厨芥類	ごみ総排出量(t/年) × 生ごみ等の排出率(30%)	賦存量(t/年) - 有効利用量(t/年)
	事業系厨芥類	食品廃棄物等の年間発生量(t/年) × (当該市町村事業所数 ÷ 全国の事業所数)	{食品廃棄物等の年間発生量(t/年) - 再生利用量(t/年)} × (当該市町村事業所数 ÷ 全国の事業所数)
廃棄物 (動植物性残さ)	動物性残渣	$Dt = Sy \times (Sz + Iz) \div (Sr + Ir)$ Dt : 市町村別動植物性残渣賦存量(t/年) Sy : 全国食品製造業における食品廃棄物(動植物性残渣)年間発生量 Sr : 全国食料品製造業製造品出荷額等 Ir : 全国飲料・たばこ・飼料等製造業製造品出荷額等 Sz : 市町村別食料品製造業製造品出荷額等 Iz : 市町村別飲料・たばこ・飼料等製造業製造品出荷額等	$Dt = (Sy - Ss) \times (Sz + Iz) \div (Sr + Ir)$ Dt : 市町村別動植物性残渣賦存量(t/年) Sy : 全国食品製造業における食品廃棄物(動植物性残渣)年間発生量 Ss : 全国食品製造業における食品廃棄物(動植物性残渣)再生利用量 Sr : 全国食料品製造業製造品出荷額等 Ir : 全国飲料・たばこ・飼料等製造業製造品出荷額等 Sz : 市町村別食料品製造業製造品出荷額等 Iz : 市町村別飲料・たばこ・飼料等製造業製造品出荷額等
廃棄物 (汚泥系)	下水汚泥	濃縮汚泥固形物量(DS-t) = 濃縮汚泥量(m <sup>3</sup> ) × 固形物濃度(1 - 平均含水率) 有機物量(VTS-t) = 濃縮汚泥固形物量(DS-t) × 平均有機分 ガス生産量(m <sup>3</sup> ) = 有機物量(VTS-t) × 450(m <sup>3</sup> /t-VTS): ガス発生量 メタンガス生産量(m <sup>3</sup> ) = ガス生産量(m <sup>3</sup> ) × 65% : メタン濃度	濃縮汚泥量発生量 - 投入汚泥量(消化設備へ投入される濃縮汚泥量)
農業系	稲わら	稲・陸稲の作付面積(ha) × 5,410(kg/ha) ÷ 1000	賦存量(t/年) × 利用可能量割合(すき込み・その他: 74.9%)
	もみ	全もみ量の算出 $omt = St \div (Sg \times g)$ omt : 全もみ St : 当該市町村別収穫量(t) Sg : 当該都道府県別粗玄米粒数歩合 g : 当該都道府県別玄米粒数歩合 もみ殻の算出 $mt = Omt \times (1 - Sg)$ mt : もみ殻(t)	もみ殻賦存量(t) × 37%

### 3. ヒアリング調査

おひさま進歩エネルギー株式会社

#### 京都市クリーンエネルギー導入可能性調査に関するヒアリング結果

##### ○ヒアリング対象者

おひさま進歩エネルギー株式会社

##### ○ヒアリング日時，場所

平成 22 年 11 月 17 日 10 : 00 ~ 事務所にて

設立までの経緯にまつわる苦勞など

- ・飯田市はもともと太陽光利用が盛ん。1930 年代に JA が太陽熱温水器導入を進めていたことがあり，そこから太陽光利用も進んだ。太陽熱温水器は一時期会社がトラブルを起こして低迷したが，県内に優良な会社があったので，うまく進んだ。
- ・新潟県柏崎の人によると，風が薄いという。風力は弱く，発電に向かない。
- ・エネルギーの地産地消を，地域特性から考えると風車は難しい。一方太陽光は，飯田市は日照時間が長いだけでなく，空気が澄んでいるせいか日射量も多いので，風力発電ではなく太陽光発電にした。
- ・市民発電所の立ち上げは京都の方が先だったので，京都市の事例を参考にした。
- ・寄付ではなく投資でやっていこうという話が出たときに，NPO では利益の再配分ができないので，飯田市が中心になって電気会社やエネルギー会社などを集めて，どう進めたらよいか話し合った。議論が堂々巡りになって4カ月ぐらい議論した。なかなか合意が得られなかったが，意見の対立は当然で，誰もが納得する意見はないと思う。
- ・お金に意思を持たせる。自分で使い道を決めるという点も，他のファンドと異なる。環境，教育，介護という3Kに関わるとよい。

運用上の問題点，トラブルなど

- ・孫のために，環境とお金のプレゼント，一粒で2度おいしいと宣伝している。投資にはリピーターも多い。
- ・どこに設置してあるかが分かり，顔の見える範囲で取り組んだ方がよいのかもしれない。
- ・太陽光パネルそのもののトラブルはない。パワーコンディショナーは機械のトラブルがあり，交換した。こちらの所有物なので，万が一の修理費用は，こちらで負担する。パワーコンディショナーの耐久年は10年なので，10年ごとに交換する契約になっている。
- ・データを一括管理しているので，天気が良くても発電していないと，連絡がなくても何かトラブルがあると分かる。公民館などではイタズラでコンセントが抜かれてしまったり，それ以外では停電後の復旧がうまくできていなかったり，などがある。
- ・運用面では貸し倒れのリスクにどう対処するかも考えておかねばならない。設置者が支払いを拒む事例もあった。これには設置者へ説明に出向いた。また引越しのリスクもある。



#### 行政に支援してもらいたいこと

- ・エネルギー問題は行政と協力しないと進められない。しかし、現在全体のコストの割を市からの補助金で賄っており、飯田市の補助金を受けて他市に太陽光パネルを設置しにくいなど、制約もある。他市でも、南信州を中心に協力体制を作りつつある。
- ・行政には事業のPRを期待している。
- ・強度上の問題から太陽光パネルが設置できない家もあるが、そうした家は、少なくとも老朽化により20～30年以内には建て替えられる。新設に義務化すれば太陽光発電は着実に増える。長期的に見て施策の誘導が必要。

#### 貴団体が注目する自然エネルギー

- ・これからはエネルギーは地域で考える時代。
- ・この地域では森林面積が86%を占めるので、森林バイオマスが有用だと考える。付加価値のある用材を作ろうとすれば、当然森林の管理が必要になる。用材としての流れ、エネルギーとしての流れ、いずれにしても循環の流れができていなければならない。森林の管理ができていればよいという問題でもない。
- ・水力発電は、3,000mから300mの落差があるのでエネルギーは相当なもの。市内電力のすべてを賄えるかも知れない。現在立山で小水力発電事業を実施している。
- ・飯田市には様々な団体がある。バイオマス関係では設計・建築士の団体もある。

#### 設置先の園児や、園児の親の反応

- ・設置した保育園では、点灯式と、園児と親を対象に環境教育の機会を設けている。園児にはキャラクターのシールを配り、シール裏面にある取組にチャレンジするよう呼びかけている。

#### 行政への要望

- ・市・県・国は、目標を定めたらそれに合わせた施策をブレずに取り組んでほしい。
- ・市が市民・団体を下請けに考えるのではなく、また市民・団体は要望だけでは進まない。市ができることは市が、市民・団体ができることは市民・団体が取り組めばよい。市はそのサポートをすればよい。
- ・たとえば、市の施設に設置する場合、20年間の長期の借用契約となるが、自治体では通常長期の契約をしないので、かなり問題になった。飯田市は長期契約に踏み切ったおかげで、ほかの市も取り組むようになった。なお長野市は1年間の契約で、毎年度の更新を、20年間続けることになっており無駄が多い。長野県は全く対応してくれない。

(以上)

○ヒアリング対象者

京都土木事務所 管理室第二担当（公園・砂防担当）

○ヒアリング日時，場所

平成 22 年 10 月 21 日 14 : 00 ~ 京都土木事務所にて

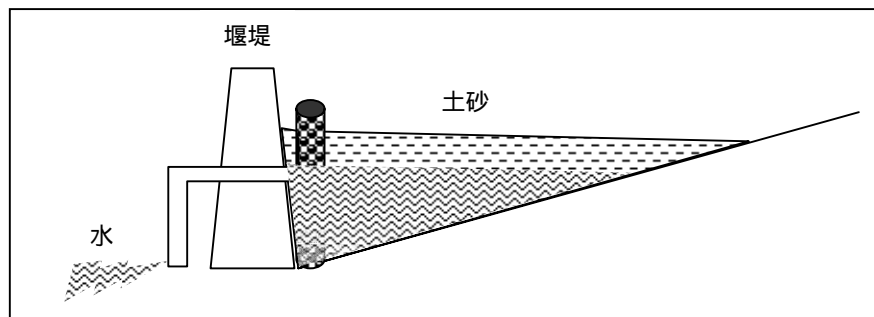
小水力発電の導入調査候補地について

<砂防ダム（京都市内）の分布>

- ・砂防指定地が，京都土木事務所管理室第二担当（公園・砂防担当）の管轄になる。
- ・音羽川の砂防ダムが，堰堤が高く，水量もある。
- ・砂防ダムは，設置候補リストを基に管内図に落とした分布図と，1/2,500，1/25,000 で個別の図面を作成している。
- ・砂防ダムの類似施設としては，河川内の構造物と治山ダム（林野庁管轄）がある。
- ・溪流クラスでは流量が少なく水利権は無いかもしれない。普通河川なので，管理は市になる。
- ・既存の候補地リストのうち，京都土木事務所管轄の砂防ダムで設置候補の可能性のあるのは，3 と 9 か。17 は，水量はある。19 は，落谷川ならば府の管理になる。
- ・他に考えられる候補は，鴨川の柵野の堰堤，桧谷川の下の方の堰堤，北谷川（水車施設用の小屋が置けないかもしれない）
- ・このような規模・水量のもの，というサンプルを示してもらえれば，こちらでも設置可能な施設を探す。管轄内に小水力発電施設が無いので，設置してみたい。

<砂防ダム（京都市内）の構造等>

- ・砂防施設は，土砂を溜めるものであり，設置場所も溪流なので，水は少ないかもしれない。
- ・土砂がたまった砂防ダムに水抜き穴の付いた管を通して（下図参照），用水を確保した例はある。



- ・堰堤には水抜きの穴があるものもあり，その数，位置等は様々で現地を見ないと分からない。

- ・流量のあるものは、小型で設置から 50 年以上経っているものが多く、管を通す等の工事には強度的に問題があるかもしれない。
- ・砂防ダム設置に当たって、堰堤用の土地は買っていない。したがって水車を置く小屋の設置場所が確保できないかもしれない。

提供資料：管内図に落とした候補地の分布図と、候補地の詳細地図写真

(以上)